2016資格要項［履修要項別冊］

TAISHO
UNIVERSITY

2013・2014・2015・2016年入学生　大正大学

2016

資格要項

TAISHO
University

［履修要項別冊］

〔仏教学部・人間学部・心理社会学部・文学部・表現学部〕

2013・2014・2015・2016年入学生

大正大学

資　格　要　項

2013・2014・2015・2016年度入学生

目　　次

1 資格について

＊資格の種類＊……2
＊資格登録・登録料＊……3
＊資格課程の科目構成＊……4

2 教職課程

＊教職課程＊……6
＊教育職員免許状取得までのながれ＊……8
＊教職課程に関する科目＊……9
＊教育実習＊……13
＊教科に関する科目＊……16
＊介護等体験＊……41
＊教育職員免許状申請について＊……43
＊教育提携プログラム（小学校・幼稚園教諭二種免許状）＊……45

3 社会教育主事

＊社会教育主事＊……48

4 学芸員

＊学芸員＊……52

5 司　書

＊司書＊……56

6 司書教諭

＊司書教諭＊……60

7 資格特別プログラム（SP履修）

＊資格特別プログラム（SP履修）＊……62

8 日本語教員養成講座

＊日本語教員養成講座＊……66

9 社会福祉主事

＊社会福祉主事＊……70

10 児童指導員

＊児童指導員＊……72

11 僧階取得講座

＊僧階取得講座＊……74
＊天台宗＊……74
＊真言宗豊山派＊……76
＊真言宗智山派＊……77
＊浄土宗＊……78

12 社会教化者養成講座（シャースタ講座）

＊浄土宗開教使養成講座＊……82

13 浄土宗開教使養成講座

＊浄土宗開教使養成講座＊……84

1 資格について

＊資格の種類＊

資格を取得するには、各学科の卒業単位とは別に、資格ごとに定められた単位を修得しなければなりません。

【　資　格　】

■教職課程　　【免許状】
■社会教育主事　　【認定証】
■学 芸 員　　【資格証明書】
■司　　書　　【資格証明書】
■司書教諭　　【修了証】〈卒業して１年後に文部科学省より授与されます〉
■社会福祉主事　　【認定証】
■児童指導員　　【認定証】
■僧　　階　　〈僧階単位修得証明書を各宗に提出します〉

【　養成講座　】

■日本語教員養成講座　【修了証】
■社会教化者養成講座　【修了証　浄土宗の場合は任命書】

免許状・認定証・証明書・修了証の交付

卒業時に所要条件を満たすことで、学位授与式の際に免許状や認定証・証明書・修了証が授与されます。（発行の際の手数料は、別途負担してください）

資格課程の履修を希望する方へ

- 資格課程の履修を希望する場合は、定められた期間内に必ず資格登録をしてください。
- 資格取得に必要な授業科目の履修登録は、各自が責任をもって行ってください。
  ガイダンスの案内や履修指導はT-Poで行いますので毎日T-Poを確認し、ガイダンスには必ず出席してください。これらを怠った場合に被る不利益は、各自が負うことになりますので注意してください。

＊資格登録・登録料＊

■資格登録

１年次秋学期の指定期間内、または２年次指定期間内に証明書発行機で資格登録を行ってください。資格登録をしないと資格に関する科目の履修登録はできません。

■登録料について

資格登録をする際は、下表のとおり登録料が必要です。登録料は年度により変更する場合がありますので、登録の際に確認してください（下表は平成28年４月１日現在）。

資　　格	登　録　料	登録年次
教　職　課　程	３５，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
社　会　教　育　主　事	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
学　芸　員	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
司　書	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
司　書　教　諭	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
日　本　語　教　員	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
社　会　福　祉　主　事	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
児　童　指　導　員	３０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
社　会　教　化　者	２０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
開　教　使（浄　土）	１０，０００円	1年次秋学期または2年次春学期
各　宗　僧　階	登録料なし	1年次春学期

- 登録期間は、T-Poでお知らせするので必ず確認してください。
- 納入された登録料はいかなる理由があっても返還しません。
- 司書教諭の資格を取得希望の場合は、教職課程も登録し、必ず両課程を履修してください。
- 僧階の資格を取得希望の場合は、必ず資格登録してください。

■編入生について

資格取得希望者は、必ず教務課で履修指導を受けたうえで、資格登録をしてください。

【教職課程を履修する方へ】

●出身校で教職課程に関する単位の一部または全部を修得している場合は、出身大学で発行する「**学力に関する証明書**」を教務課へ提出してください。

■留学を予定している学生について

在学中に留学（協定留学･その他の留学）を予定している場合は、留学する前に必ず教務課窓口へ相談し、履修指導を受けてください。

■休学を予定している学生について

教職課程･学芸員を履修していて途中休学を予定している場合は、休学する前に必ず教務課窓口へ相談し、履修指導を受けてください。

■科目等履修生制度

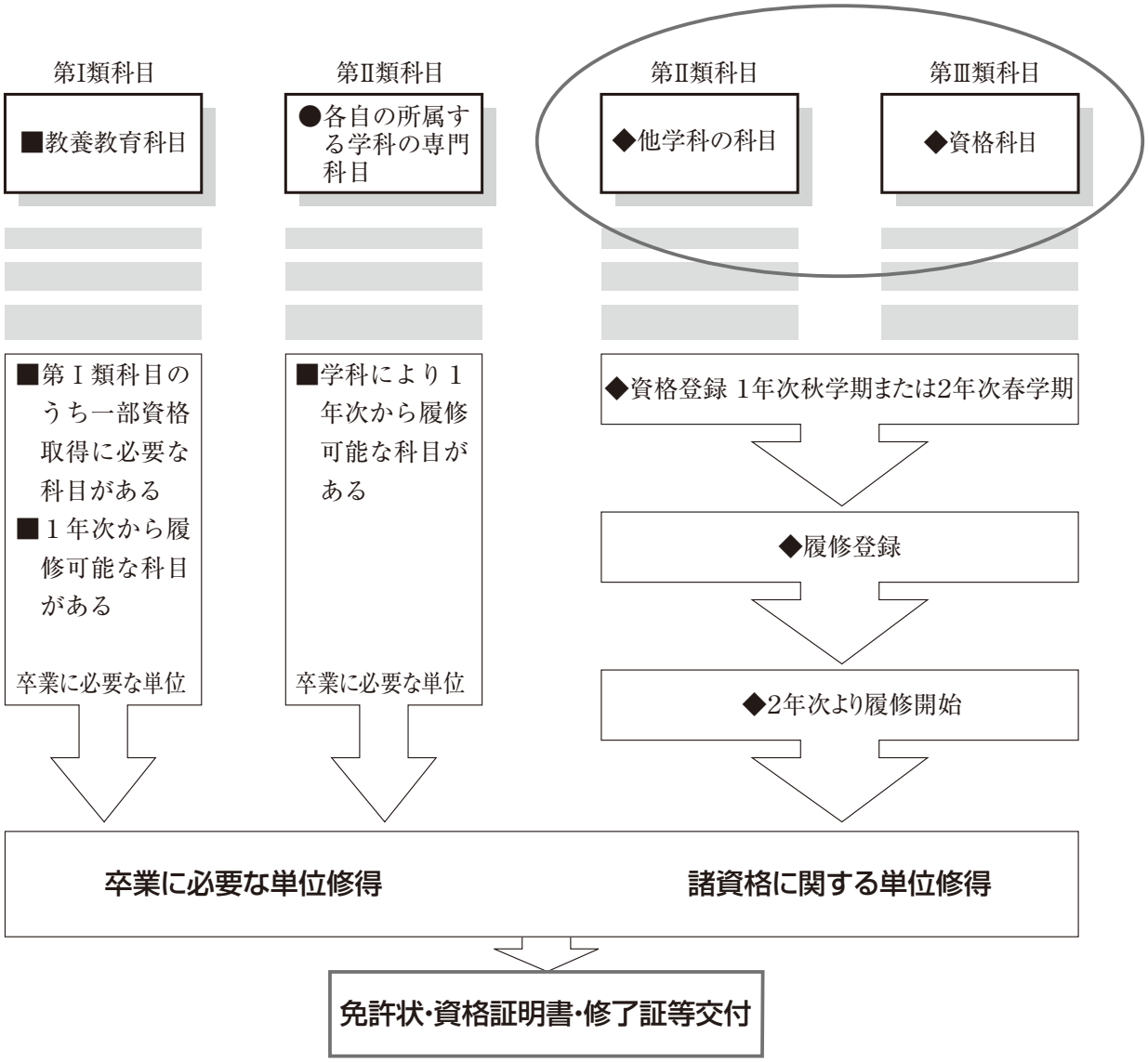
本学卒業生・大学院在学生・修了生に限り卒業後に科目等履修生制度を利用して免許・資格の取得ができます。ただし、科目等履修生制度を利用する際は、必ず教務課へ相談してください。

１年間で履修できる単位等制限があるので、教務課窓口で配付している「**科目等履修生出願手続要項**」で確認してください。

【教職課程を履修する方へ】

●本学の出身学科に対応する免許教科の取得を目指すものとします。

＊資格課程の科目構成＊



注　意

資格課程は、３年間で必要単位が修得できるようカリキュラムが組まれています。早めに履修計画をたて、卒業までに必要な単位を修得してください。複数の資格登録をすることにより無理な履修計画をたてないように注意してください。

また、実習のある資格は、学生への連絡も多々あります。連絡事項については、すべてT-Poでお知らせするので必ず確認してください。また、ガイダンスには、必ず出席してください。

2 教職課程

＊教職課程＊

教育職員免許状を取得しようとする学生のために開設し、学校教育と教職のあり方について深く考え、学び、教員としての専門知識の基礎を修得することを目的としています。ただ単に、免許状の取得のみを目標にしないようにしてください。

免許状を取得するためには、卒業に必要な単位の他に「教職に関する科目」「教科に関する科目」「教科又は教職に関する科目」「66条の６に定める科目」の単位を修得しなければなりません。

【教職課程の単位】

本学で教育職員免許状を取得するには、以下の単位を修得してください。また中学校の免許状を取得するには「介護等体験」を必修とします。（P42、P43を参照）

1　**教職に関する科目**　　中学校31（社会のみ33）単位　　高等学校27単位
2　**教科に関する科目**　　中学校28（社会のみ26）単位　　高等学校30単位
3　**教科又は教職に関する科目**　　2単位（高等学校のみ）
4　**66条の6に定める科目**　　8単位

【教育職員免許状の種類】

書道、宗教のみの免許状の取得を希望しても実習校がきわめて少ないので、複数の教科の履修を原則とします。

教育職員免許法に基づき、本学学則に定める科目の単位を修得することにより各学科・コースで取得できる免許状は以下のとおりです。ただし他学科聴講により免許状取得ができる場合があります。詳細は教職ガイダンスにてお知らせします。

〈2013年度入学生〉

学　科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	日本語日本文学	国語	国語
	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		

〈2014年度入学生〉

学　科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	日本語日本文学	国語	国語
	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	出版・編集		
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		

※コース名が空欄の学科は全コース対象です。

各学科・コースで取得できる免許状は以下のとおりです。ただし他学科聴講により免許状取得ができる場合があります。詳細は教職ガイダンスにてお知らせします。

〈2015年度入学生〉

学　科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
臨床心理学科			公民
人間科学科		社会	公民
教育人間学科		社会・宗教	地歴・公民・宗教
人文学科	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
日本文学科		国語	国語
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		
	出版・編集		

〈2016年度入学生〉

学　科	コース	中学校教諭一種免許状	高等学校教諭一種免許状
仏教学科		社会・宗教	公民・宗教
社会福祉学科			
人間環境学科			
教育人間学科		社会	地歴・公民
臨床心理学科			
人間科学科			
人文学科	哲学・宗教文化	宗教	公民・宗教
	カルチュラルスタディーズ		
日本文学科		国語	国語
歴史学科		社会	地歴
表現文化学科	英語表現・コミュニケーション	英語	英語
	クリエイティブライティング		書道
	放送・映像表現		
	エンターテインメントビジネス		
	出版・編集		

他学科聴講について

他学科聴講とは、自学科で取得できる教科以外に、他学科で課程認定を受けている教科の免許状取得をすることです。この場合取得を希望するすべての免許状に係る「教科教育法」「教科に関する科目」の単位を修得することが必要です。

希望する人は、必ず教務課に相談してください。

■大学院教職課程

大学院（博士前期課程）では、各専攻ごとに専修免許状を取得することができます。

ただしその基礎となる一種免許状を取得するための要件を満たしていることが条件となります。専修免許状の取得については、大学院履修要項で確認してください。

〔専修免許状種類〕

種類＼専攻	仏教学	社会福祉学	臨床心理学	人間科学	宗教学	史学	国文学	比較文化
中学校専修	宗教	社会	—	社会	宗教	社会	国語	英語
高等学校専修	宗教	公民	公民	公民	宗教	地理歴史	国語	英語

＊教育職員免許状取得までのながれ＊

学年	教育実習・免許申請		介護等体験	
1年	9月	・教職課程ガイダンス ・資格登録		
	3月末	・教職課程ガイダンス		
2年	4月	・資格登録 （1年次に未登録の学生対象）		
			10月	介護等体験スタートガイダンス ・介護等体験申込 ・レポート課題提示
			12月	介護等体験事前指導 ・前年度体験者報告会出席 ・レポート提出
	3月中旬	・教職課程面談予約	1月	T－Poにてレポートの合否発表
	3月末	・教職課程面談 ・教職課程ガイダンス	3月末	介護等体験ガイダンス
3年	4月	・実習校への内諾依頼	5月	介護等体験事前講義
	5月	・教育実習調査書提出	6月	介護等体験事前講義
	6月～9月	・内諾回答文が実習校から戻り次第配付	6月	介護等体験直前ガイダンス
	8月	・教育実習希望者事前面談予約		
	9月	・教育実習希望者事前面談 ・教育実習Ⅰ履修登録 ・教育実習Ⅰ授業受講	6月～12月	介護等体験参加
	12月	・教育実習報告会（4年生と合同）		
	3月末	・教職課程ガイダンス	12月	介護等体験事後指導 （介護等体験報告会出席）
4年	4月	・教育実習直前ガイダンス		
	7月	・教育職員免許状一括申請ガイダンス 1回目（申込、戸籍抄本提出）		
	12月	・教育職員免許状一括申請ガイダンス 2回目（宣誓書の署名・捺印） ・教育実習報告会 （3年生と合同）		
	3月	・学位授与式（免許状授与）		

「教科に関する科目」
「66条の6に定める科目」「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」
「教育実習」

＊教職課程に関する科目＊

□　教職に関する科目

３年次終了までにすべて履修し、下表のとおり単位を修得してください（但し、教育実習・教職実践演習を除きます）。

法定科目	本学開講科目	単位数	備考
教職の意義等に関する科目	現代教職論	2	２～３年次必修
教育の基礎理論に関する科目	教育基礎論	2	２～３年次必修
	学習・発達論	2	２～３年次必修
	教育制度論	2	２～３年次必修
教育課程及び指導法に関する科目	教育課程論	2	２～３年次必修
	国語科教育法Ⅰ	2	２～３年次必修 （P10 参照） ・Ⅰ→Ⅱ 先修制：Ⅰの単位修得後Ⅱを履修すること。
	国語科教育法Ⅱ	2	
	国語科教育法Ⅲ	2	
	国語科教育法Ⅳ	2	
	英語科教育法Ⅰ	2	
	英語科教育法Ⅱ	2	
	英語科教育法Ⅲ	2	
	英語科教育法Ⅳ	2	
	宗教科教育法Ⅰ	2	
	宗教科教育法Ⅱ	2	
	宗教科教育法Ⅲ	2	
	宗教科教育法Ⅳ	2	
	書道科教育法Ⅰ	2	
	書道科教育法Ⅱ	2	
	社会科教育法Ⅰ	2	
	社会科教育法Ⅱ	2	
	社会・地歴科教育法Ⅰ	2	
	社会・地歴科教育法Ⅱ	2	
	社会・公民科教育法Ⅰ	2	
	社会・公民科教育法Ⅱ	2	
	道徳教育研究	2	２～３年次必修
	道徳教育の指導法	2	２単位選択必修
	特別活動研究	2	２～３年次必修
	特別活動の指導法	2	２単位選択必修
	教育方法論	2	２～３年次必修
生徒指導、教育相談及び進路指導等に関する科目	生徒・進路指導論	2	２～３年次必修
	教育相談	2	
教育実習（P13～P15参照）	教育実習Ａ	3※	※高等学校のみ ３年次秋学期より履修
	教育実習Ｂ	5	
教職実践演習	教職実践演習	2	4年次秋学期履修

2016年度未開講

■　教科教育法の履修方法について

４年次に教育実習を行う教科の教科教育法は３年次終了までに単位を修得すること。また、教育実習を行う教科以外で免許状を取得希望する教科の教科教育法は４年次終了までに単位を修得すること。

■　社会・地理歴史・公民の教科教育法の履修方法について

以下のとおりに履修してください。

●中学社会科

①社会科教育法Ⅰ
②社会科教育法Ⅱ
③社会・地歴科教育法Ⅰ
④社会・公民科教育法Ⅰ　　１科目選択必修　　計６単位

●中学社会科と高校地理歴史科

①社会科教育法Ⅰ
②社会科教育法Ⅱ
③社会・地理歴史科教育法Ⅰ
③社会・地理歴史科教育法Ⅱ　　計８単位

●中学社会科と高校公民科

①社会科教育法Ⅰ
②社会科教育法Ⅱ
③社会・公民科教育法Ⅰ
③社会・公民科教育法Ⅱ　　計８単位

□　教科又は教職に関する科目

教員としての個性や得意分野を作ってもらうための科目です。本学では法令で定められている教科に関する科目の単位数を上回る科目を履修してもらいます。（高等学校の免許状取得にあたっては道徳教育研究も含みます。）

＊教職課程に関する科目＊

□　66条の6に定める科目

教育職員免許法施行規則66条の６に定められた科目で、免許状の種類にかかわらず必修です。
３年次終了までにすべて履修し、下表の単位を修得してください。

本学開講科目	本学開講科目	単位数	本学開講科目
日　本　国　憲　法	日本国憲法	2	２～３年次必修
体　　育	現代スポーツ論	2	２～３年次必修 ２単位選択必修
	自然の探究Ｃ※	2	※「自然の探究C」は2015年度までの履修しか認めない。2016年度以降は「体育」を履修すること。 2015年度以降の入学生は必ず「体育」を履修すること。
	体　　育※	2	
外国語コミュニケーション	英　　語Ⅰ	1	１～３年次同一言語で ２単位選択必修 ※英語以外は抽選科目
	英　　語Ⅱ	1	
	英　　語Ⅲ	1	
	英　　語Ⅳ	1	
	英　　語１	1	
	英　　語２	1	
	英　　語３	1	
	英　　語４	1	
	英　　語Ⅰ（総合）	1	
	英　　語Ⅱ（総合）	1	
	英　　語Ⅲ（総合）	1	
	英　　語Ⅳ（総合）	1	
	英　　語Ⅴ（TOEIC）	1	
	英　　語Ⅵ（TOEIC）	1	
	ドイツ語Ⅰ（総合）	1	
	ドイツ語Ⅰ（読解）	1	
	ドイツ語Ⅰ（会話）	1	
	ドイツ語Ⅱ（総合）	1	
	ドイツ語Ⅱ（読解）	1	
	ドイツ語Ⅱ（会話）	1	
	ドイツ語Ⅲ（総合）	1	
	ドイツ語Ⅲ（読解）	1	
	ドイツ語Ⅲ（会話）	1	
	ドイツ語Ⅳ（総合）	1	
	ドイツ語Ⅳ（読解）	1	
	ドイツ語Ⅳ（会話）	1	
	世界の言語（ドイツ語）1	1	
	世界の言語（ドイツ語）2	1	
	世界の言語（ドイツ語）3	1	
	世界の言語（ドイツ語）4	1	
	フランス語Ⅰ（総合）	1	
	フランス語Ⅰ（読解）	1	
	フランス語Ⅰ（会話）	1	

2016年度未開講

法　定　科　目	本学開講科目	単位数	備　　考
外国語コミュニケーション	フランス語Ⅱ（総合）	1	
	フランス語Ⅱ（読解）	1	
	フランス語Ⅱ（会話）	1	
	フランス語Ⅲ（総合）	1	
	フランス語Ⅲ（読解）	1	
	フランス語Ⅲ（会話）	1	
	フランス語Ⅳ（総合）	1	
	フランス語Ⅳ（読解）	1	
	フランス語Ⅳ（会話）	1	
	世界の言語（フランス語）1	1	
	世界の言語（フランス語）2	1	
	世界の言語（フランス語）3	1	
	世界の言語（フランス語）4	1	
	中　国　語Ⅰ	1	
	中　国　語Ⅱ	1	
	中　国　語Ⅲ	1	
	中　国　語Ⅳ	1	
	世界の言語（中国語）1	1	
	世界の言語（中国語）2	1	
	世界の言語（中国語）3	1	
	世界の言語（中国語）4	1	
	中　国　語Ⅰ（総合）	1	
	中　国　語Ⅱ（総合）	1	
	中　国　語Ⅲ（総合）	1	
	中　国　語Ⅲ（会話）	1	
	中　国　語Ⅲ（読解）	1	
	中　国　語Ⅳ（総合）	1	
	中　国　語Ⅳ（会話）	1	
	中　国　語Ⅳ（読解）	1	1～3年次同一言語で2単位選択必修 ※英語以外は抽選科目
	中　国　語Ⅴ（会話）	1	
	中　国　語Ⅴ（読解）	1	
	中　国　語Ⅴ（キャリア）	1	
	中　国　語Ⅴ（中国語検定）	1	
	中　国　語Ⅵ（会話）	1	
	中　国　語Ⅵ（読解）	1	
	中　国　語Ⅵ（キャリア）	1	
	中　国　語Ⅵ（中国語検定）	1	
情　報　機　器　の　操　作	情報基礎(基本PC技法)	2	1～3年次2単位必修 ※ 抽選科目
	基礎技法C	2	

2016年度未開講

＊教育実習＊

■　教育実習までのながれ

3年次

3月23日（水）	3年生教職ガイダンス
4月～5月下旬	内諾依頼
5月27日（金）	教育実習調査書提出
秋学期履修登録期間	「教育実習Ⅰ」履修登録
9月～	「教育実習Ⅰ」授業開始（4年生秋学期まで続きます）
9月	教育実習希望者事前面談
1月	「教育実習Ⅰ」試験

4年次

3月23日（水）	4年生教職ガイダンス
4月16日（土） 4限	教育実習直前ガイダンス
5月下旬～10月	教育実習
12月17日（土）4限・5限	教育実習報告会（3年生と合同授業です。「教育実習Ⅰ」が終了になります）

※ガイダンス日程については予定です。変更する可能性もありますので、T-Poで必ず確認をしてください。

※実習期間中の授業の欠席について

教務課窓口で「欠席事由証明書」を発行します。欠席する授業の担当教員へ**事前に**提出してください。

但し、出欠の判断は担当教員により異なります。詳細については、教育実習直前ガイダンスで説明します。

■　教育実習Ⅰ、Ⅱ（教育実習事前事後指導）の履修登録について

教育実習Ⅰは、3年生秋学期に各自で履修登録してください。教育実習Ⅱは、4年生教職ガイダンスで履修を受け付け、教務課が登録を行います。各自で登録する必要はありません。

〈教育実習の単位数と実習期間について〉

取得免許状種類	単位数	実習期間
高校一種のみ	3単位	2週間
中学一種のみ 中学一種・高校一種	5単位	3～4週間

※時期・期間については実習校の指示に従ってください。

〈教育実習の単位認定について〉

平常点及び学期末試験の合格を前提に、4年次の事前事後指導における平常点、教育実習での実習校からの評価、実習日誌に加え、一社会人としての態度・言動ができているか（ガイダンス等への出席状況、提出物等）も含め、4年次終了時に「教育実習」として教育実習Ⅰ、Ⅱの単位認定をします。

〈実習参加資格〉

- 以下の科目の単位を3年次終了までに修得した学生
  - ①　教職に関する科目（P９参照）
  - ②　教科又は教職に関する科目（P10参照）
  - ③　66条の6に定める科目（P11、P12参照）
- 教育実習Ⅰ（3年次秋学期）の平常点、学期末試験に合格し、4年次春学期のガイダンスに出席した学生
- 教員として就職することを強く志望している学生
- 実習校から大学をとおして内諾を得ている学生

● 教職課程・教育実習事前面談（２年次・３年次）に合格している学生

※科目等履修生について

「教職に関する科目」「教科又は教職に関する科目」「66条の6に定める科目」の単位を修得済みで、「教育実習」履修年次に「教科に関する科目」の単位をすべて修得できる見込みの学生

■ 実習について

● 中学校の免許状を取得する場合、原則として中学校で教育実習を行ってください。ただし高校でしか内諾をもらえなかった場合は、実習期間に十分注意してください（３週間以上の実習が必要）。

● 高校のみの免許状を取得しようとする学生が高校で内諾を得られなかった場合は、実習に行くことができません。中高合わせて免許状を取得するようにしてください。

年次	実習校種別	手続き等	
3年次	出身校（都公立・特別依頼校除く）	内諾依頼	新年度のガイダンス（３月末）終了後、各自で出身校を訪問し、教育実習の内々諾を得てください。内々諾を得たら大学で配布する「教育実習調査書」を記入し、期限までに教務課窓口へ提出してください。「教育実習調査書」に基づき、大学から正式に実習校へ内諾依頼をします。
		実習までの確認・手続き	教務課窓口で「回答書」を事前に受け取り確認してください。
	都公立中学・高校	内諾依頼	東京都教育委員会で取りまとめるため、別途申請が必要です。必ず「教育実習調査書」は提出してください。 申請方法は新年度のガイダンス時（３月末）に説明します。
		実習までの確認・手続き	実習校が決定後、大学から本人に通知します。その後の提出書類等については教務課から指示します。
	特別依頼校	内諾依頼	特別依頼校での実習を希望する場合は、指定の期日までに教務課へ申し出てください。特別依頼校への個人的な交渉は認められません。必ず「教育実習調査書」は提出してください。 10月に希望者面接をし、実習参加の合否ならびに実習校を決定します。ただし、実習校の指定や実習教科の指定はできません。 〈特別依頼校での実習申込資格〉 ①中学校・高校両方の免許を取得希望であること。 ②３年次春学期までのGPAが3.0以上であること。
		実習までの確認・手続き	教務課窓口で「回答書」を事前に受け取り確認してください。
4年次	共通	実習費納入	実習費が必要な学生は、証明書発行機で指定期間内に納入してください。詳細は、教育実習直前ガイダンスにてお知らせします。 ※ その他、教育実習にかかる費用は、実習校の指示に従ってください。
		実習の準備	実習開始前に各自が実習校と連絡を取り、実習校での事前オリエンテーションの日程等を確認し実習の準備をしてください。 実習校ではそれぞれの実状に即して、教育実習の指導計画が編成されています。使用する教科書や配属学年・クラス・担当分野等を実習校での事前オリエンテーションでよく確認してください。

■　教育実習日誌の提出について

教育実習終了後、指定期日までに「教育実習日誌」を教務課窓口へ提出してください。

実習校の事情により、期日までに提出できない場合は、必ず教務課へ連絡してください。

■　教育実習の成績について

３年次の教育実習Ⅰにおける平常点と学期末試験、４年次の事前事後指導における平常点、実習校からの評価、実習日誌に加え、一社会人としての態度･言動ができているか、も含めて総合的に評価する。

■　教育実習の辞退について

教育実習の辞退は一切認めません（病気等やむを得ない場合を除く）。

実習校決定後に実習を辞退することは、実習校ならびに教育委員会に多大な迷惑をかけることになります。

また、今後後輩の実習受け入れに支障をきたすことになるので注意してください。ただし、「実習参加資格」に該当しない学生（P13参照）は３年次終了の時点で辞退となります。

＊教科に関する科目＊

法令上は「各区分ごとにそれぞれ１単位以上修得し、かつ合計20単位以上を修得すること」となっていますが、総修得単位（59単位）のうち、「教職に関する科目」の単位数が取得する免許・教科によって異なるため、本学では各自所属学部・学科・コースで定める科目表にしたがって履修してください。

■仏教学科

●中学校社会科

◎修得単位数の合計が**26単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
社会	日本史及び外国史	日本史概説Ａ	2	○	１科目選択必修
		日本史概説Ｂ	2	○	
		西洋史概説	4	●	必修
		東洋史概説	4	●	必修
		天台教団史研究Ａ	2		
		天台教団史研究Ｂ	2		
		真言豊山教団史研究Ａ	2		
		真言豊山教団史研究Ｂ	2		
		真言智山教団史研究Ａ	2		
		真言智山教団史研究Ｂ	2		
		浄土教団史研究Ａ	2		
		浄土教団史研究Ｂ	2		
		時宗教団史研究	4		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学Ａ	2	○	１科目選択必修
		人文地理学Ｂ	2	○	
		自然地理学Ａ	2	○	１科目選択必修
		自然地理学Ｂ	2	○	
		地誌学	2	●	必修
	「法律学、政治学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	１科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		宗教法人法	2		
	「社会学、経済学」	社会学入門	4	○	１科目選択必修
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
		社会教化総論	2		
		現代社会と仏教	2		
		ネクストコミュニティ基礎論Ａ	2		【NCC登録者のみ履修可】2010年度以降入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論Ｂ	2		
		ネクストコミュニティ基礎論Ｃ	2		
		ネクストコミュニティ共生論Ａ	2		
		ネクストコミュニティ共生論Ｂ	2		
		ネクストコミュニティ共生論Ｃ	2		
		ネクストコミュニティ創造論Ａ	2		
		ネクストコミュニティ創造論Ｂ	2		
		ネクストコミュニティ創造論Ｃ	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論Ａ	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論Ｂ	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論Ｃ	2		
		仏教社会福祉論	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学入門	2	○	１科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		基礎仏教学Ⅰ	4		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
社会	「哲学、倫理学、宗教学」	基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅱ	4		
		基礎仏教学Ⅱ（大乗仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅲ	4		
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅳ	4		
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4		
		インド思想史概論	2		
		初期仏教思想研究	2		
		初期仏教研究	2		
		大乗仏教思想研究A	2		
		大乗仏教研究	2		
		大乗仏教思想研究B	2		
		大乗経典研究	2		
		中国仏教思想研究	2		
		中国仏教研究	2		
		日本仏教思想研究	2		
		日本仏教研究	2		
		近代思想と仏教	2		
		現代思想と仏教	2		
		教育と宗教	2		
		仏教美術史研究A	2		
		仏教美術史研究B	2		
		仏教文化研究A	2		
		仏教文化研究B	2		
		仏教文化研究C	2		
		仏教文化研究D	2		
		仏教文化研究E	2		
		密教と文化	2		
		仏教表現研究A	2		
		仏教表現研究 B	2		
		天台仏教と文化	2		
		仏教表現研究 C	2		
		仏教表現研究 D	2		
		浄土教と文化	2		
		仏教表現研究 E	2		
		天台学教理体系A	2		
		天台学教理体系B	2		
		天台学宗典概説A	2		
		天台学宗典概説B	2		
		真言豊山学教理体系A	2		
		真言豊山学教理体系B	2		
		真言豊山学宗典概説A	2		
		真言豊山学宗典概説B	2		
		真言智山学教理体系A	2		
		真言智山学教理体系B	2		
		真言智山学宗典概説A	2		
		真言智山学宗典概説B	2		
		浄土学教理体系A	2		
		浄土学教理体系 B	2		
		浄土学宗典概説 A	2		
		浄土学宗典概説 B	2		
		時宗教理体系	4		

2016年度未開講

■仏教学科

●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
公民	「法 律 学(国際法を含む。)、政治学（国際政治を含む。)」	法律学概論(国際法を含む。)	2	○	1科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
		宗教法人法	2		
	「社 会 学、経 済 学(国際経済を含む。)」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		社会教化総論	2		
		現代社会と仏教	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】2010年度以降入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
		仏教社会福祉論	2		
	「哲 学、倫 理 学、宗 教 学、心 理 学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修 ※「心理学の基礎A」は2015年度までの履修しか認めない。2016年度以降は「心理学概説」を履修すること。
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎 A※	2	○	
		心理学概説 ※	2	○	
		基礎仏教学Ⅰ	4		
		基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅱ	4		
		基礎仏教学Ⅱ（大乗仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅲ	4		
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅳ	4		
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4		
		インド思想史概論	2		
		初期仏教思想研究	2		
		初期仏教研究	2		
		大乗仏教思想研究A	2		
		大乗仏教研究	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
公民	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	大乗仏教思想研究B	2		
		大乗経典研究	2		
		中国仏教思想研究	2		
		中国仏教研究	2		
		日本仏教思想研究	2		
		日本仏教研究	2		
		近代思想と仏教	2		
		現代思想と仏教	2		
		教育と宗教	2		
		仏教美術史研究A	2		
		仏教美術史研究B	2		
		仏教文化研究A	2		
		仏教文化研究B	2		
		仏教文化研究C	2		
		仏教文化研究D	2		
		仏教文化研究E	2		
		密教と文化	2		
		仏教表現研究A	2		
		仏教表現研究 B	2		
		天台仏教と文化	2		
		仏教表現研究 C	2		
		仏教表現研究 D	2		
		浄土教と文化	2		
		仏教表現研究 E	2		
		天台学教理体系A	2		
		天台学教理体系B	2		
		天台学宗典概説A	2		
		天台学宗典概説B	2		
		真言豊山学教理体系A	2		
		真言豊山学教理体系B	2		
		真言豊山学宗典概説A	2		
		真言豊山学宗典概説B	2		
		真言智山学教理体系A	2		
		真言智山学教理体系B	2		
		真言智山学宗典概説A	2		
		真言智山学宗典概説B	2		
		浄土学教理体系A	2		
		浄土学教理体系 B	2		
		浄土学宗典概説 A	2		
		浄土学宗典概説 B	2		
		時宗教理体系	4		

2016年度未開講

■仏教学科

●中学校・高等学校宗教科

◎修得単位数の合計が**中学校は28単位以上、高校は30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
宗教	宗教学	宗教学入門	2	●	必修
		基礎仏教学Ⅰ	4		
		基礎仏教学Ⅰ（初期仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅱ	4		
		基礎仏教学Ⅱ（大乗仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅲ	4		
		基礎仏教学Ⅲ（アジア仏教）	4		
		基礎仏教学Ⅳ	4		
		基礎仏教学Ⅳ（日本仏教）	4		
		インド思想史概論	2		
		初期仏教思想研究	2		
		初期仏教研究	2		
		大乗仏教思想研究A	2		
		大乗仏教研究	2		
		大乗仏教思想研究B	2		
		大乗経典研究	2		
		中国仏教思想研究	2		
		中国仏教研究	2		
		日本仏教思想研究	2		
		日本仏教研究	2		
		近代思想と仏教	2		
		現代思想と仏教	2		
		インド仏典研究	2		
		教育と宗教	2		
		仏教美術史研究A	2		
		仏教美術史研究B	2		
		仏教文化研究A	2		
		仏教文化研究B	2		
		仏教文化研究C	2		
		仏教文化研究D	2		
		仏教文化研究E	2		
		密教と文化	2		
		仏教表現研究A	2		
		仏教表現研究 B	2		
		天台仏教と文化	2		
		仏教表現研究 C	2		
		仏教表現研究 D	2		
		浄土教と文化	2		
		仏教表現研究 E	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
	宗　　教　　史	宗教史Ⅰ	2	●	
		宗教史Ⅱ	2	●	
		天台教団史研究 A	2		
		天台教団史研究 B	2		
		真言豊山教団史研究 A	2		
		真言豊山教団史研究 B	2		
		真言智山教団史研究 A	2		
		真言智山教団史研究 B	2		
		浄土教団史研究 A	2		
		浄土教団史研究 B	2		
		時宗教団史研究	4		
宗教	「教理学、哲学」	哲学入門	2	●	必修
		天台学教理研究A	2		
		天台学教理研究B	2		
		天台学教理研究C	2		
		天台学教理研究D	2		
		真言豊山学教理研究A	2		
		真言豊山学教理研究B	2		
		真言豊山学教理研究C	2		
		真言豊山学教理研究D	2		
		真言智山学教理研究A	2		
		真言智山学教理研究B	2		
		真言智山学教理研究C	2		
		真言智山学教理研究D	2		
		浄土学教理研究A	2		
		浄土学教理研究B	2		
		浄土学教理研究C	2		
		浄土学教理研究D	2		
		日蓮教学概論A	2		
		日蓮教学概論B	2		
		禅学概論A	2		
		禅学概論B	2		

2016年度未開講

■臨床心理学科（2015年度以前入学生）

●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		関係法規	2		
		人生課題と法律	2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
		産業臨床心理学	2		
		コミュニティ心理学	2		
		臨床調査研究法	2		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修 ※「心理学の基礎A」「心理学の基礎B」は【臨床心理学科対象】のものを履修すること。
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学	2	○	
		心理学の基礎A ※	2	○	
		臨床心理学概論	2		
		心理学の基礎B ※	2	○	
		心理学研究法	2		
		心理査定法	2		
		対人社会心理学	2		
		パーソナリティ心理学	2		
		認知心理学	2		
		発達心理学	2		
		発達臨床心理学	4		
		深層心理学	4		
		人間性心理学	4		
		家族臨床心理学	2		
		教育臨床心理学	2		
		非行犯罪臨床心理学	2		
		病院臨床心理学	2		
		臨床神経心理学	2		
		臨床心理学実務特講	2		
		臨床心理学技法特講	2		
		臨床心理学理論特講	2		
		心理療法論	4		
		心理援助論	2		
		発達援助論	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅠ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅡ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅢ	2		
		臨床心理学専門ゼミナールⅣ	2		
		臨床心理学技法演習	4		
		臨床心理学演習（インターン）	4		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールA	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールB	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールC	2		
		臨床心理学特殊研究ゼミナールD	2		
		原書講読A	1		
		原書講読B	1		
		原書講読C	1		
		原書講読D	1		

2016年度未開講

■人間科学科（2015年度以前入学生）

●中学校社会科

◎修得単位数の合計が**26単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
社会	日本史及び外国史	日本史概説A	2	○	1科目選択必修
		日本史概説B	2	○	
		東洋史概説	4	●	必修
		西洋史概説	4	●	必修
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	必修
	「法律学、政治学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		生活問題論	2		
		社会と法	2		
	「社会学、経済学」	社会学の基礎	4	○	1科目選択必修 ※「社会学の基礎A」と「社会学の基礎B」は同時に履修すること。また、【人間科学科対象】のものを履修すること。
		社会学の基礎A※	2	○	
		社会学の基礎B※	2	○	
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		人間科学研究法の基礎	2		
		社会調査法B	2		
		ジェンダー論	2		
		家族研究入門	2		
		家族の社会学	2		
		ライフコース論	2		
		現代社会論	2		
		現代社会とライフコース	2		
		学びと人生	2		
		都市と地域の社会学	2		
		家族変動論	2		
		教育と社会	2		
		青年文化論	2		
		青年期とアイデンティティ	2		
		職場の社会学	2		
		仕事の社会学	2		
		犯罪・非行と社会	2		
		社会問題論	2		
		犯罪学研究	2		
		文化の社会学	2		
		生活環境の社会学	2		
		人口と社会	2		
		人間科学研究法A	2		
		社会調査法A	2		
		人間科学研究法C	2		
		社会調査法C	2		
		人間科学研究法D	2		
		社会統計学Ⅰ	2		
		人間科学研究法E	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
社会	「社会学、経済学」	社会統計学Ⅱ	2		
		社会学の理論と方法	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	

2016年度未開講

■人間科学科（2015年度以前入学生）

●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
公民	「法 律 学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		生活問題論	2		
		社会と法	2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学の基礎	4	○	1科目選択必修 ※「社会学の基礎A」と「社会学の基礎B」は同時に履修すること。また、【人間科学科対象】のものを履修すること。
		社会学の基礎A※	2	○	
		社会学の基礎B※	2	○	
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
		人間科学研究法の基礎	2		
		社会調査法B	2		
		ジェンダー論	2		
		家族研究入門	2		
		家族の社会学	2		
		ライフコース論	2		
		現代社会論	2		
		現代社会とライフコース	2		
		学びと人生	2		
		都市と地域の社会学	2		
		家族変動論	2		
		教育と社会	2		
		青年文化論	2		
		青年期とアイデンティティ	2		
		職場の社会学	2		
		仕事の社会学	2		
		現代社会と宗教	2		
		犯罪・非行と社会	2		
		文化の社会学	2		
		犯罪学研究	2		
		社会問題論	2		
		生活環境の社会学	2		
		人口と社会	2		
		人間科学研究法 A	2		
		社会調査法A	2		
		人間科学研究法 C	2		
		社会調査法C	2		
		人間科学研究法 D	2		
		社会統計学 I	2		
		人間科学研究法 E	2		
		社会統計学Ⅱ	2		
		社会学の理論と方法	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
公民	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	ネクストコミュニティ基礎論A	2		
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		【NCC登録者のみ履修可】 2010年度以降 入学生対象
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修 ※「心理学の基礎A」と「心理学の基礎B」は同時に履修すること。また、【人間科学科対象】のものを履修すること。
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎	4	○	
		心理学の基礎A※	2	○	
		心理学の基礎B※	2	○	
		社会心理学	2		
		脳と心	2		
		心の認知科学	2		
		認知社会心理学	2		
		生涯発達心理学	2		
		親と子の発達心理学	2		
		コミュニケーションの心理学	2		
		健康心理学	2		
		心理学研究法A	2		
		人間科学研究法B	2		
		心理学研究法B	2		

2016年度未開講

■教育人間学科

●中学校社会科

◎修得単位数の合計が**26単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
社会	日本史及び外国史	日本史概説A	2	○	1科目選択必修
		日本史概説B	2	○	
		東洋史概説	4	●	必修
		西洋史概説	4	●	必修
		文化からみる日本史	2		
		文化からみる世界史	2		
		科学とオカルトの歴史	2		
		科学と宗教の歴史	2		
		東と西の思想史	2		
		美学の歴史	2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	必修
		環境への責任を考える	2		
		国際理解教育論	2		
	「法律学、政治学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		グローバル化に向き合う教育	2		
	「社会学、経済学」	社会学の基礎	4	○	1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
		現代の人間関係を考える	2		
		教育と社会	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】2010年度以降入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学の基礎	2	○	1科目選択必修
		現代社会の倫理を考える	2	○	
		宗教学の基礎	2	○	
		教育者のための哲学	2		
		教育者のための倫理学	2		
		人と文化をつくる宗教	2		
		生活のなかの宗教	2		
		こころの教育を考える	2		
		いのちの教育を考える	2		
		いのちの倫理	2		
		伝統民俗を活かす教育	2		
		アジアの思想と教育	2		
		宗教と教育の関係	2		

2016年度未開講

■教育人間学科

●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
		グローバル化に向き合う教育	2		
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学の基礎	4	○	1科目選択必修
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
		現代の人間関係を考える	2		
		教育と社会	2		
		生涯学習概論	4		
		比較生涯学習概論A	2		
		比較生涯学習概論B	2		
		社会教育計画論	4		
		子育て支援学習	2		
		青少年と学習	2		
		成人と学習	2		
		ネクストコミュニティ基礎論A	2		【NCC登録者のみ履修可】2010年度以降入学生対象
		ネクストコミュニティ基礎論B	2		
		ネクストコミュニティ基礎論C	2		
		ネクストコミュニティ共生論A	2		
		ネクストコミュニティ共生論B	2		
		ネクストコミュニティ共生論C	2		
		ネクストコミュニティ創造論A	2		
		ネクストコミュニティ創造論B	2		
		ネクストコミュニティ創造論C	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論A	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論B	2		
		ネクストコミュニティマネジメント論C	2		
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学の基礎	2	○	1科目選択必修 ※「心理学の基礎A」と「心理学の基礎B」は同時に履修すること。また、【人間科学科対象】のものを履修すること。
		現代社会の倫理を考える	2	○	
		宗教学の基礎	2	○	
		心理学の基礎	4	○	
		心理学の基礎A※	2	○	
		心理学の基礎B※	2	○	
		教育心理学の基礎	2		
		社会心理学の基礎	2		
		教育者のための哲学	2		
		教育者のための倫理学	2		
		こころの哲学	2		
		人と文化をつくる宗教	2		
		生活のなかの宗教	2		
		こころの教育を考える	2		
		いのちの教育を考える	2		
		いのちの倫理	2		
		伝統民俗を活かす教育	2		
		アジアの思想と教育	2		
		対立と対話	2		
		宗教と教育の関係	2		
		パーソナリティの心理学	2		
		臨床発達心理学	2		
		個人差の心理学	2		

2016年度未開講

■教育人間学科

●高等学校地理歴史科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
地理歴史	日本史	日本史概説A	2	○	1科目選択必修
		日本史概説B	2	○	
		文化からみる日本史	2		
	外国史	西洋史概説	4	●	必修
		東洋史概説	4	●	必修
		文化からみる世界史	2		
		科学とオカルトの歴史	2		
		科学と宗教の歴史	2		
		東と西の思想史	2		
		美学の歴史	2		
	人文地理学及び自然地理学	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		環境への責任を考える	2		
		国際理解教育論	2		
	地誌	地誌学	2	●	必修

2016年度未開講

●中学校・高等学校宗教科（2015年度以前入学生）

◎修得単位数の合計が**中学校は28単位以上、高校は30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
宗教	宗教学	宗教学の基礎	2	●	必修
		生活のなかの宗教	2		
		伝統民俗を活かす教育	2		
		アジアの思想と教育	2		
		現代宗教論	2		
		宗教と教育の関係	2		
	宗教史	人と文化をつくる宗教	2	●	必修
		科学とオカルトの歴史	2		
		科学と宗教の歴史	2		
		宗教史Ⅰ	2		
		宗教史Ⅱ	2		
	「教理学、哲学」	哲学の基礎	2	●	必修
		教育者のための哲学	2		
		教育者のための倫理学	2		
		こころの哲学	2		
		いのちの倫理	2		
		こころの教育を考える	2		
		いのちの教育を考える	2		
		現代社会の倫理を考える	2		
		対立と対話	2		

2016年度未開講

■人文学科〈日本語・日本文学コース〉（2014年度以前入学生）

●中学校国語科

◎修得単位数の合計が**28単位以上**になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
国語	国語学（音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		
		基礎日本語Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		
		日本語学研究Ⅰ	2	●	必修
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		
		音声学研究Ⅰ	2	●	必修
		音声学研究Ⅱ	2	●	必修
		言語学研究Ⅰ	2	●	必修
		言語学研究Ⅱ	2	●	必修
		日本語学課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		日本語学課題研究Ⅱ	2		
		日本語学課題研究Ⅲ	2		
		日本語学課題研究Ⅳ	2		
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅲ	2		
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		日本文学課題研究Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅲ	2		
		日本文学課題研究Ⅳ	2		
	漢文学	日本漢文学	2	●	必修
	書道（書写を中心とする。）	書写技術研究 A	2	●	必修
		書写技術研究 B	2	●	必修

2016年度未開講

■人文学科〈日本語・日本文学コース〉（2014年度以前入学生）

●高等学校国語科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
国語	国語学（音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		
		基礎日本語Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		
		日本語学研究Ⅰ	2	●	必修
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		
		音声学研究Ⅰ	2	●	必修
		音声学研究Ⅱ	2	●	必修
		言語学研究Ⅰ	2	●	必修
		言語学研究Ⅱ	2	●	必修
		日本語学課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		日本語学課題研究Ⅱ	2		
		日本語学課題研究Ⅲ	2		
		日本語学課題研究Ⅳ	2		
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		
		基礎日本文学Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅲ	2		
		基礎日本文学Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅳ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		日本文学課題研究Ⅱ	2		
		日本文学課題研究Ⅲ	2		
		日本文学課題研究Ⅳ	2		
	漢文学	日本漢文学	2	●	必修

2016年度未開講

■人文学科〈哲学・宗教文化コース〉

●高等学校公民科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること。（○は選択必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
公民	「法律学（国際法を含む。）、政治学（国際政治を含む。）」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論（国際政治を含む。）	2	○	
	「社会学、経済学（国際経済を含む。）」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論（国際経済を含む。）	2	○	
	「哲学、倫理学、宗教学、心理学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修 ※「心理学の基礎A」は2015年度までの履修しか認めない。2016年度以降は「心理学概説」を履修すること。
		現代倫理学Ⅰ	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		心理学の基礎A※	2	○	
		心理学概説※	2	○	
		哲学・思想基礎論	2		
		宗教文化論	2		
		文化人類学	2		
		哲学の歴史Ⅰ	2		
		哲学の歴史Ⅱ	2		
		現代哲学Ⅰ	2		
		現代哲学Ⅱ	2		
		現代倫理学Ⅱ	2		
		宗教史Ⅰ	2		
		宗教史Ⅱ	2		
		宗教文化研究A	2		
		宗教文化研究B	2		
		宗教文化研究C	2		
		宗教文化研究D	2		
		現代宗教論	2		
		比較宗教論	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅰ	2		※他学科聴講生履修不可
		哲学・宗教課題研究Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅲ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅳ	2		

2016年度未開講

■人文学科〈哲学・宗教文化コース〉

●中学校・高等学校宗教科

◎修得単位数の合計が中学校は**28単位以上**、高校は**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること。
（●は必修、○は選択必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
宗教	宗　教　学	宗教学入門	2	●	必修
		宗教文化論	2		
		宗教文化研究A	2		
		宗教文化研究B	2		
		宗教文化研究C	2		
		宗教文化研究D	2		
		現代宗教論	2		
		比較宗教論	2		
	宗　教　史	宗教史Ⅰ	2	●	必修
		宗教史Ⅱ	2	●	必修
	「教理学、哲学」	哲学入門	2	●	必修
		哲学・思想基礎論	2		
		哲学の歴史Ⅰ	2		
		哲学の歴史Ⅱ	2		
		現代哲学Ⅰ	2		
		現代哲学Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		哲学・宗教課題研究Ⅱ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅲ	2		
		哲学・宗教課題研究Ⅳ	2		

2016年度未開講

■日本文学科〈日本文学コース〉（2015年度以降入学生）

●中学校国語科

◎修得単位数の合計が**28単位以上**になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
国語	国語学（音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		
		基礎日本語Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		
		日本語学研究Ⅰ	2	●	必修
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		
		音声学研究Ⅰ	2	●	必修
		音声学研究Ⅱ	2	●	必修
		言語学研究Ⅰ	2	●	必修
		言語学研究Ⅱ	2	●	必修
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		
		基礎日本文学Ⅰ	2		
		基礎日本文学Ⅱ	2		
		基礎日本文学Ⅲ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅳ	2	●	必修
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
	漢文学	古典文学研究Ⅳ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本漢文学	2	●	必修
	書道（書写を中心とする。）	書写技術研究 A	2	●	必修
		書写技術研究 B	2	●	必修

2016年度未開講

■日本文学科〈日本文学コース〉（2015年度以降入学生）

●高等学校国語科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること。（●は必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
国語	国語学（音声言語および文章表現に関するものを含む。）	日本語基礎論	2		
		基礎日本語Ⅰ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅱ	2	●	必修
		基礎日本語Ⅲ	2		
		基礎日本語Ⅳ	2		
		日本語学研究Ⅰ	2	●	必修
		日本語学研究Ⅱ	2		
		日本語学研究Ⅲ	2		
		日本語学研究Ⅳ	2		
		音声学研究Ⅰ	2	●	必修
		音声学研究Ⅱ	2	●	必修
		言語学研究Ⅰ	2	●	必修
		言語学研究Ⅱ	2	●	必修
	国文学（国文学史を含む。）	日本文学基礎論	2		
		基礎日本文学Ⅰ	2		
		基礎日本文学Ⅱ	2		
		基礎日本文学Ⅲ	2	●	必修
		基礎日本文学Ⅳ	2	●	必修
		古典文学研究Ⅰ	2		
		古典文学研究Ⅱ	2		
		古典文学研究Ⅲ	2		
		古典文学研究Ⅴ	2		
		古典文学研究Ⅵ	2		
		詩歌研究Ⅰ	2		
		詩歌研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅰ	2		
		近代文学研究Ⅱ	2		
		近代文学研究Ⅲ	2		
		近代文学研究Ⅳ	2		
		近代文学研究Ⅴ	2		
		近代文学研究Ⅵ	2		
		仏教文学Ⅰ	2		
	漢文学	古典文学研究Ⅳ	2		
		仏教文学Ⅱ	2		
		日本漢文学	2	●	必修

2016年度未開講

■歴史学科

●中学校社会科

◎修得単位数の合計が**26単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
社会	日本史及び外国史	日本史概説	4	●	必修
		西洋史概説	4	●	必修
		歴史学入門	2		
		日本の歴史と仏教	2		
		仏教と歴史	2		
		日本の歴史書	2		
		東洋史概説	4	●	必修
		考古学概説	4		
		考古学特講	2		
		考古学基礎研究	2		
		東洋文化史	2		
		歴史文化概論	2		
		民族と歴史	2		
		日本史特殊研究A	4		
		日本史特殊研究B	4		
		古記録講読A	2		
		古記録講読B	2		
		古文書講読A	2		
		古文書講読B	2		
		日本古代史基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究A	2		
		日本古代史基礎研究B	2		
		日本中世史基礎研究	4		
		日本中世史基礎研究A	2		
		日本中世史基礎研究B	2		
		日本近世史基礎研究	4		
		日本近世史基礎研究A	2		
		日本近世史基礎研究B	2		
		日本近代史基礎研究	4		
		日本近代史基礎研究A	2		
		日本近代史基礎研究B	2		
		日本古代史特講	2		
		日本中世史特講	2		
		日本近世史特講	2		
		日本近代史特講	2		
		東洋史特殊研究	4		
		中国の歴史書	2		
		東洋史基礎研究A	2		
		東洋史基礎研究B	2		
		東洋史特講A	2		
		東洋史特講B	2		
		東洋文献講読A	2		
		東洋文献講読B	2		
		東洋史基礎研究C	2		
	地理学（地誌を含む。）	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
社会	地理学（地誌を含む。）	自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
		地誌学	2	●	必修
	「法律学、政治学」	法律学概論（国際法を含む。）	2	○	1科目選択必修
		政治学概論(国際政治を含む。)	2	○	
	「社会学、経済学」	社会学入門	4	○	1科目選択必修
		経済学概論(国際経済を含む。)	2	○	
	「哲学、倫理学、宗教学」	哲学入門	2	○	1科目選択必修
		現代倫理学	2	○	
		宗教学入門	2	○	
		教育者のための哲学	2		
		こころの哲学	2		

2016年度未開講

■歴史学科

●高等学校地理歴史科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
地理歴史	日本史	歴史学入門	2		
		日本の歴史と仏教	2		
		仏教と歴史	2		
		日本の歴史書	2		
		日本史概説	4	●	必修
		日本史特殊研究A	4		
		日本史特殊研究B	4		
		古記録講読A	2		
		古記録講読B	2		
		古文書講読A	2		
		古文書講読B	2		
		考古学基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究	2		
		日本古代史基礎研究A	2		
		日本古代史基礎研究B	2		
		日本中世史基礎研究	4		
		日本中世史基礎研究A	2		
		日本中世史基礎研究B	2		
		日本近世史基礎研究	4		
		日本近世史基礎研究A	2		
		日本近世史基礎研究B	2		
		日本近代史基礎研究	4		
		日本近代史基礎研究A	2		
		日本近代史基礎研究B	2		
		日本古代史特講	2		
		日本中世史特講	2		
		日本近世史特講	2		
		日本近代史特講	2		
		考古学概説	4		
		考古学特講	2		
	外国史	中国の歴史書	2		
		東洋文化史	2		
		西洋史概説	4	●	必修
		東洋文献講読A	2		
		東洋文献講読B	2		
		東洋史基礎研究A	2		
		東洋史基礎研究B	2		
		東洋史特講A	2		
		東洋史特講B	2		
		東洋史基礎研究C	2		
		東洋史概説	4	●	必修
		東洋史特殊研究	4		
	人文地理学及び自然地理学	人文地理学A	2	○	1科目選択必修
		人文地理学B	2	○	
		自然地理学A	2	○	1科目選択必修
		自然地理学B	2	○	
	地誌	地誌学	2	●	必修

2016年度未開講

■表現文化学科〈英語表現･コミュニケーションコース〉

●中学校・高等学校英語科

◎修得単位数の合計が**中学校は28単位以上、高校は30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修、○は選択必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備考
英語	英語学	英語学概論A	2	●	必修
		英語学概論B	2	●	必修
	英米文学	英米文学概論A	2	●	必修
		英米文学概論B	2	●	必修
		アメリカ文学史	2	○	1科目選択必修
		イギリス文学史	2	○	
		英会話Ⅰ	2	○	1科目選択必修
		英会話Ⅱ	2	○	
		英会話Ⅲ	2	○	
		英会話Ⅳ	2	○	
		英語表現論	2		
		英語コミュニケーション論Ⅰ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅱ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅲ	2		
		英語コミュニケーション論Ⅳ	2		
		英語表現研究A	2		
		英語表現研究B	2		
		キャリア英語表現A	2		
		キャリア英語表現Ⅰ	2		
		キャリア英語表現B	2		
		キャリア英語表現Ⅱ	2		
		キャリア英語表現C	2		
		キャリア英語表現Ⅲ	2		
		キャリア英語表現D	2		
		キャリア英語表現Ⅳ	2		
		ワークショップ（英語）Ⅰ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅱ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅲ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅳ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅴ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅵ	6		
		ワークショップ（英語）Ⅶ	6		
	異文化理解	異文化の理解A	2	●	必修
		異文化の理解B	2	●	必修
		異文化の理解C	2		
		異文化の理解D	2		
		異文化研究の展開Ⅰ－A	2		
		異文化研究の展開Ⅰ－B	2		
		異文化研究の展開Ⅰ－C	2		
		異文化研究の展開Ⅰ－D	2		
		異文化研究の展開Ⅱ－A	2		
		異文化研究の展開Ⅱ－B	2		
		異文化研究の展開Ⅱ－C	2		
		異文化研究の展開Ⅱ－D	2		

2016年度未開講

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
英語	異　文　化　理　解	異文化特別研究Ⅰ	2	●	必修
		異文化特別研究Ⅱ	2		
		異文化特別研究Ⅲ	2		
		異文化特別研究Ⅳ	2		
		異文化課題研究Ⅰ	2		※ 他学科聴講生履修不可
		異文化課題研究Ⅱ	2		
		異文化課題研究Ⅲ	2		
		異文化課題研究Ⅳ	2		

2016年度未開講

■表現文化学科〈クリエイティブライティングコース〉

●高等学校書道科

◎修得単位数の合計が**30単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修）。

教科	免許法施行規則に定める科目区分	本学開講科目	単位	必修	備　　考
書道	書道（書写を含む。）	書写技術研究A	2		
		書写技術研究B	2		
		書道Ⅰ	2	●	必修
		書道Ⅱ	2	●	必修
		書道Ⅲ	2	●	必修
		書道文化研究A	2	●	必修
		書道文化研究B	2	●	必修
		書道文化研究	4		
		書道文化研究E	2		
	書　道　史	書道史Ⅰ	2	●	必修
		書道史Ⅱ	2	●	必修
	「書論、鑑賞」	書道表現研究A	2		
		書道表現研究B	2		
		書道文化研究C	2	●	必修
		書道文化研究D	2	●	必修
	「国文学、漢文学」	文芸表現論	2		
		日本文学基礎論	2		
		日本漢文学	2	●	必修

2016年度未開講

＊介護等体験＊

教育職員免許法の特例により、小学校および中学校の教諭の普通免許状を取得するにあたって「障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験（介護等体験)」が義務づけられています。

小学校及び中学校の教諭の普通免許状授与に係る教育職員免許法の特例等に関する法律
（平成9.6.18法律90号）
（趣旨）
第１条　この法律は、義務教育に従事する教員が個人の尊厳及び社会連帯の理念に関する認識を深めることの重要性にかんがみ、教員としての資質の向上を図り、義務教育の一層の充実を期する観点から、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与を受けようとする者に、障害者、高齢者に対する介護、介助、これらの者との交流等の体験を行わせる措置を講ずるため、小学校又は中学校の教諭の普通免許状の授与について教育職員免許法（昭和24年法律第147号）の特例等を定めるものとする。

■　対象者

中学校教諭一種免許状取得を希望する学生

■　参加条件

前年度の介護等体験スタートガイダンスに参加し、申込書を提出、課題に合格した学生
かつ、その後のガイダンスに全て出席し、課題等に全て合格した学生

■　体験実施年次

３年次が望ましいですが､履修計画等により３年次に行うことが困難な場合は４年次に実施してください。

■　体験先・体験日数

特別支援学校２日間＋社会福祉施設５日間＝計７日間
各自、指定された日程に特別支援学校または社会福祉施設にて介護等体験を行います。

■　体験時期（５月～翌年３月）

日程指定はできません。
体験先・体験日は、決定次第発表します（５～６月頃)。

介護等体験の辞退、日程の変更

私的な都合（留学、サークル活動、アルバイト、帰省、就職活動など）による体験日程の変更は一切認めません。また進路変更等、自己都合による辞退も認めません。

■　介護等体験日程〔予定〕

3年次 （平成28年度 体験者）	3月23日（水）	介護等体験ガイダンス	
	5月14日（土）4限	介護等体験事前講義	〈健康診断証明書〉を提出してください。
	6月1日（水）5限	介護等体験事前講義	
	6月11日（土）4限	介護等体験 直前ガイダンス	介護等体験希望学生個人票を提出してください。必要書類を配布します。
	5月～3月	介護等体験	体験先・体験日程の指定はできません。
	2016年 12月10日（土）3限	介護等体験報告会	報告会の際に課題、証明書（コピー）提出
2年次 （平成29年度 体験予定者）	2016年 10月22日（土）3限	介護等体験 スタートガイダンス	中学校教諭を取得希望の学生は必ず出席をしてください。（原則2年次参加）
	2016年 12月10日（土）3限	介護等体験報告会	

※ガイダンスは時間厳守で参加してください。
※ガイダンス、事前授業には、全て出席してください。また、やむを得ない事由により欠席する場合は、事前に教務課へ申し出てください。
※ガイダンス日程については予定です。変更する可能性もありますので、T-Poで必ず確認をしてください。
※平成28年度に介護等体験を希望する学生は、「介護等体験スタートガイダンス」に必ず参加をしてください。

●　健康診断・細菌検査

介護等体験先より健康診断証明書の提出を求められるので、全員4月に実施される本学の健康診断を必ず受診してください。

体験先によっては、細菌検査結果等の提出を求められます。その際は、各自保健所等で検査を受けてください。検査結果の発行までに2週間以上かかる場合がありますので、日にちに余裕をもって検査を受けてください。

●　介護等体験終了証明書

ガイダンス内で配布する「証明書」用紙に、体験先（特別支援学校、社会福祉施設）で終了を証明する押印を受けます。これが、体験終了を証明する「証明書」になります。これは、中学校の教員免許状を申請する際に必要な重要な書類です。大学にはコピーを体験報告会の時に提出してください。なお、「証明書」の再発行はできません。紛失した場合は再度体験をしなければなりませんので、**「体験終了証明書」の原本は、各自で大切に保管してください。**

●　介護等体験期間中の授業の欠席について

※介護等体験中の授業の欠席については、「欠席事由証明書」を発行します。欠席する科目担当教員へ事前に提出してください。但し、出欠の判断は担当教員の判断によります。発行については、直前ガイダンスで説明します。

＊教育職員免許状申請について＊

教育職員免許状の取得に必要な所定の科目の単位修得をした学生は、都道府県の教育委員会に申請をすることで、教育職員免許状が授与されます。

この申請の方法には、「一括申請」と「個人申請」とがあり、学位授与式当日に免許状授与を希望する場合は、大学が東京都教育委員会に一括して授与申請（一括申請）を行います。それに際しては、下表の学内手続きが必要です。学内手続きを経ない（必要書類未提出、ガイダンス無断欠席）場合は、一括申請はせず、個人での授与申請（個人申請）となります。

【一括申請の手続き】

対象者:本年度３月に卒業(修了)見込みで､授与を希望する免許状に必要な所定の単位を修得していること(中学校一種の各教科の授与申請には、介護等体験を済ませていることも条件です)。加えて、以下の学内手続き(ガイダンス、書類提出等）を滞りなく済ませること。

	時期	内容	備考
一括申請ガイダンスⅠ	７月16日(土)4限	手続きの説明、申請書作成、戸籍抄本提出	
一括申請ガイダンスⅡ	12月17日(土)3限	申請内容の確認、書類作成	
手数料の納金	１月	１教科3,300円×申請教科分	
申請免許状の交付	３月15日(水)	学位授与式当日､要印鑑(簡易印不可)	

【個人申請について】

申請および授与は、卒業後（卒業年４月中旬以降）に居住する都道府県の教育委員会へ各自申請してください。申請する際には、必ず各教育委員会に問い合わせ、提出書類等の確認をしてください。

教員採用試験

教育職員として就職を希望する場合は、教育職員採用試験に合格する必要があります。

①公立学校の教員になるには

都道府県の教育委員会で実施する教育職員採用試験に合格しなくてはいけません。

試験は毎年７月頃から実施されます。

この試験に合格すると教育職員採用候補者名簿に登録され、欠員を補充する形で採用されることになります。

②私立学校教員になるには

・私学協会が主催する「私立学校教員適性検査」を受験します。

・適性検査が実施される都道府県を確認してください。

・各私立学校独自の求人に直接応募する場合もあります。

※採用試験に関することはCEC（キャリアエデュケーションセンター)、教育人間学科閲覧室で取り扱っています。

※免許状を取得した後、免許状の授与証明書を必要とする場合は、各自で東京都教育委員会に問い合わせ、「教育職員免許状授与証明書」の交付を申請してください。(個人申請者は、申請先の教育委員会へ問い合わせてください。)

【教員免許更新制】

教員免許更新制とは……

①最新の知識技能を身に付けることが目的です。
②教員免許状に10年間の有効期限が付きます。
③更新の際には30時間の更新講習の受講が必要です。
④こちらの制度は平成21年４月１日より施行されました。同年３月31日以前の免許状取得者にも更新制の基本的な枠組みが適用されます。

■教員免許状の有効期間について
施行後（平成21年４月１日以降）に授与された免許状（新免許状）の場合
更新制を導入するため、普通免許状及び特別免許状の有効期間を、所要の資格を得て※から10年後の年度末までとします。
例えば、平成23年３月25日に所要資格を得た免許状は平成33年３月31日まで有効となります。
※「所要の資格を得て」…免許状の授与に必要な学位と単位を満たした状態のこと。

＊教育提携プログラム（小学校教諭二種免許状）＊

本学では、明星大学通信教育部の科目等履修制度を利用し、小学校教諭二種免許状を取得することができます。ただし、卒業までに『小学校教諭二種免許状』を取得できなかった場合、本学でのプログラムは終了しますが、卒業後、個人で明星大学通信教育部に再入学し、履修を継続することができます。

【履修対象者】

・全学部全学科の2年生～ 4年生
・平成29年2月に実施する学内選考に合格した1年生（2年生）
※平成29年1月に『小学校教諭二種免許状取得希望者ガイダンス』を実施
・教職課程の資格登録者
・中学校教諭一種免許状取得見込者
（既に他大学で中学校教諭一種免許状の交付を受けている学生を含む）

【履修期間】

履修期間は原則、2年次～ 4年次の3年間としています。
2年次に申込をすると、3年次から履修開始となるため、履修期間は2年間となります。
履修期間が短くなる分、履修しなければならない科目が多くなります。
2年次に申込を考えている場合は、教職課程担当教員、または教務部窓口へ相談してください。

【学習方法】

R：レポート　　教科書を基に学習し、指定されたレポート課題を作成・提出する。
T：科目終了試験　定められた日時において、学習した科目の試験を受験する。
S：スクーリング　明星大学の講義に出席し、最終日に授業内試験を受ける（別途受講料が必要）

■小学校教諭二種免許状取得に必要な科目

科目名	単位	履修年次	受講方法	備考
音楽	2	2・3・4	RT or SR	
図画工作	2	2・3・4	RT or SR	
初等教育課程論	2	2・3・4	RT	
初等教育方法学	2	2・3・4	RT or SR	
初等国語科教育法（書写を含む）	2	2.・3・4	RT or SR	
道徳教育の指導法（小学校）	2	3・4	RT or SR	
初等音楽科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等図画工作科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等算数科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等社会科教育法	2	3・4	RT or SR	
初等生活科教育法	2	3・4	RT	
初等教育実習指導	1	3・4	SR	
初等教育相談の基礎と方法	2	4	RT	
特別活動の指導法（小学校）	2	4	RT	
初等教育実習	2	4	―	
合計（15科目）	29			

※RT：レポートと科目終了試験　SR：スクーリングとレポート

＊教育実習について＊

本学で中学校または高校で教育実習を3週間行った場合、小学校での実習期間は2週間となります。
なお、都立の小学校での実習は認められていません。

【小学校教諭二種免許状の交付申請方法】

本学で学位授与式当日に、中学校教諭一種免許状を交付された後、各自、交付を受ける教育委員会に
個人申請をしていただくこととなります。

【教育提携プログラムに関するお知らせについて】

教育提携プログラムに関するお知らせは、すべてT-Poで配信します。

3 社会教育主事

＊社会教育主事＊

社会教育主事とは、都道府県および市町村の教育委員会におかれる専門的教育職員（教育公務員特例法第２条第５項）のことです。その身分は教育公務員であり、教育委員会によって任命されます。

現在、社会教育法（昭和24年６月公布）により「都道府県および市町村の教育委員会の事務局に社会教育主事を置く（同法第９条の２）」ことになっています。

社会教育主事は、社会教育施設、各種の団体・サークルなどの学級・講座、集会・行事（イベント）などの企画や方法の助言・サポートを行うにあたり役立つ資格です。

また、学校が社会教育関係団体、地域住民その他の関係者の協力を得て教育活動を行う場合には、その求めに応じて、必要な助言を行うことができます。

[社会教育主事資格]

社会教育主事となる資格を有する者について、社会教育法第９条の４第３号は、「大学に２年以上在学して、62単位以上を取得し、かつ、大学において文部科学省令で定める社会教育に関する科目の単位を修得した者で、１年以上社会教育主事補の職にあった者」と規程しています。

この規定に基づき、本学では社会教育主事に関する単位を修得し、卒業要件を満たした学生に対して、学位授与式に「認定証」を授与します。

[履修方法について]

全学科対象に開講されていますが、必修科目については、教育人間学科とそれ以外の学科によって履修方法が異なります。所属学科の履修科目を確認し、履修してください。ただし選択必修科目については全学科共通とします。

[履修科目]

<table>
<tr><th>法定科目</th><th>本学開講科目</th><th>単位</th><th>履修上の注意点</th></tr>
<tr><td>生涯学習概論</td><td>生涯学習概論◎</td><td>4</td><td>2年次必修
※ 教育人間学科のみ1年次から履修可</td></tr>
<tr><td>社会教育計画</td><td>社会教育計画論◎</td><td>4</td><td>2～3年次必修</td></tr>
<tr><td>社会教育演習
社会教育実習
社会教育
課題研究</td><td>生涯学習施設実習◆</td><td>4</td><td>必修
「生涯学習概論」を修得後に履修
・通年科目のため、春登録（秋登録・削除ともに不可）
・資格登録料以外に施設実習費の納入が必要
（金額・納入方法については授業中に説明します）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">社会教育特講Ⅰ
（現代社会と社会教育）</td><td>比較生涯学習概論A</td><td>2</td><td rowspan="19">12単位選択必修
ただし、各分野ごとに2単位以上履修

※「仕事の社会学」は2014年度以降に履修した単位は認めない。「職場の社会学」は2013年度以前に履修した単位は認めない。2015年度履修する場合は、「職場の社会学」を履修すること</td></tr>
<tr><td>比較生涯学習概論B</td><td>2</td></tr>
<tr><td>子育て支援学習</td><td>2</td></tr>
<tr><td>青少年と学習</td><td>2</td></tr>
<tr><td>成人と学習</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="8">社会教育特講Ⅱ
（社会教育活動・事業・施設）</td><td>視聴覚教育A</td><td>2</td></tr>
<tr><td>視聴覚教育B</td><td>2</td></tr>
<tr><td>博物館情報・メディア論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>図書館情報学B</td><td>2</td></tr>
<tr><td>図書館制度・経営論◎</td><td>2</td></tr>
<tr><td>博物館概論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育文化事業論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>図書館情報学A◎</td><td>2</td></tr>
<tr><td rowspan="6">社会教育特講Ⅲ
（その他必要な科目）</td><td>図書館概論◎</td><td>2</td></tr>
<tr><td>生涯スポーツ論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育制度論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>現在の教育問題</td><td>2</td></tr>
<tr><td>ジェンダー論</td><td>2</td></tr>
<tr><td>教育と宗教</td><td>2</td></tr>
<tr><td>仕事の社会学 ※</td><td>2</td></tr>
<tr><td>職場の社会学 ※</td><td>2</td></tr>
</table>

2016年度未開講

■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。「履修上の注意点」で指定している科目を単位修得しなければ、履修できません。
■科目名に「◎印」のある科目は、通信制によるテキスト・レポート履修ができる科目です（P62参照）。

4 学　芸　員

＊学　芸　員＊

学芸員は、博物館におかれている専門職員で、「博物館法」によって博物館に専門的技能を有する学芸員をおくことが定められています。職務内容は「博物館法」により博物館の資料収集･保管･展示および調査研究、その他これに関連する事業について専門的事項をつかさどることが規定されています。博物館は社会教育機関のひとつであり、学芸員の職務は研究活動と同時に社会教育活動も担っています。

[学芸員資格]

学芸員となる資格を有する者について、博物館法第５条第１項は「学士の学位を有する者で、大学において文部科学省令で定める博物館に関する科目の単位を修得した者」と規定しています。この規定に基づき、卒業要件を満たし、かつ学芸員課程の所定単位を修得した学生に対し、学位授与式に「資格証明書」を授与します。

[履修方法について]

- 「履修上の注意点」をよく読み、履修し、単位を修得してください。
- 館園実習を伴う「博物館実習Ⅱ」は先修制科目です。３年次終了までに所定の単位を修得しなければ履修できません。
  また「博物館実習Ⅱ」を履修しなければ、館園実習に行くことはできません。

[平成28年度博物館実習ガイダンスについて（予定)]

■3年生対象

平成28年3月下旬（ガイダンス期間）	学芸員（博物館実習Ⅰ-A）ガイダンス
平成28年9月中旬（ガイダンス期間）	学芸員（博物館実習Ⅰ-B）ガイダンス
平成28年11月下旬、または12月上旬	『博物館実習Ⅱ』履修希望者対象ガイダンス

■4年生対象

平成28年3月下旬（ガイダンス期間）	学芸員（博物館実習Ⅱ）ガイダンス

[学芸員に関するお知らせについて]

授業や館園実習に関することは、全てT-Poで配信します。毎日必ず確認してください。

[履修科目]

	法定科目	本学開講科目	単位	必修単位	履修年次	履修上の注意点
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論◎	4	4	2～3年次	
	博物館概論	博物館概論	2	2	2～3年次	「博物館概論」を履修および単位修得の上で、各科目を履修することが望ましい。 ※歴史学科のみ、1年次から履修可。
	博物館資料論	博物館資料論	2	2	2～3年次	
	博物館資料保存論	博物館資料保存論	2	2	2～3年次	
	博物館展示論	博物館展示論	2	2	2～3年次	
	博物館経営論	博物館経営論	2	2	2～3年次	
	博物館実習	博物館実習Ⅰ-A	1	1	3年次	
		博物館実習Ⅰ-B ◆	1	1		「博物館実習Ⅰ-B」は、「博物館実習Ⅰ-A」を単位修得していなければ履修できない。
		博物館実習Ⅰ-C ◆	2			「博物館実習Ⅰ-C」は、「博物館実習Ⅰ-A」を単位修得していなければ履修できない。
		博物館実習Ⅱ ◆	2	2	4年次	①「博物館実習Ⅱ」は、「博物館情報・メディア論」・「博物館教育論」を除く必修科目の単位を修得していなければ履修できない。 ②「博物館実習Ⅱ」が履修できなければ、館園実習に行くことはできない。
	博物館情報・メディア論	博物館情報・メディア論	2	2	2～4年次	
	博物館教育論	博物館教育論	2	2	2～4年次	
選択必修科目	文化史	日本の歴史書	2	2科目4単位以上	2～4年次	文化史、美術史、考古学、民俗学、自然科学史のうち、2分野以上から、2科目4単位以上必修。
		仏教と歴史	2			
		中国の歴史書	2			
		東洋文化史	2			
		仏教文化研究A	2			
		仏教伝統文化研究	2			
		仏教文化研究B	2			
		天台仏教と文化	2			
		仏教文化研究C	2			
		浄土教と文化	2			
		仏教文化研究D	2			
		仏教文化研究E	2			
		密教と文化	2			
	美術史	美術工芸史概説	4			
	考古学	考古学概説	4			
	民俗学	民俗学概論	2			
		伝統民俗を活かす教育	2			
	自然科学史	歴史地理学	2			

2016年度未開講

■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。
「履修上の注意点」で指定している科目を単位修得しなければ、履修できません。
■科目名に「◎」が付いている科目は、通信制によるテキスト・レポート履修ができる科目です（P.62参照）。

5 司　　書

＊司　　書＊

図書館の専門的職務に携る職員を図書館法では「司書」と規定しています。

図書館は、現代の知的基盤社会におけるさまざまな情報をタイムリーに提供するための施設です。

司書は、図書館資料を収集・整理するとともに、閲覧・貸出し、利用案内、情報探索の支援等の専門的業務に従事します。

現在の図書館は、コンピューター化も進み、また他の図書館等とのネットワーク化により、より多様なサービスが展開されるようになってきています。

本学でも司書課程を設置し、社会的要請に応えるため、情報管理を中心に、高度な理論と技術を修得し、都道府県、市町村の公共図書館、大学や官庁研究所、民間企業の資料室、調査部門等で活躍できる司書の育成を推進しています。

[司書資格]

司書となる資格を有する者について、図書館法第５条第１項は「大学を卒業した者で、大学において図書館に関する科目を履修したもの」と規定されています。

この規定に基づき、卒業要件を満たし、かつ司書に関する単位を修得した者に対して、学位授与式に「資格証明書」を授与します。

[履修方法について]

前提科目を修得しなければ履修できない科目があるため、57・58ページの「履修上の注意点」を確認のうえ、履修・単位修得してください。

[司書に関するお知らせについて]

授業に関することは、全てT-Poで配信します。毎日必ず確認してください。

［履修科目］2015年度以前入学生

	法定科目	本学開講科目	単位	必修単位	履修上の注意点
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論◎	4	4	
	図書館概論	図書館概論◎	2	2	
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論◎	2	2	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	2	
	図書館サービス概論	図書館サービス概論◎	2	2	
	情報サービス論	情報サービス論◎	2	2	
	児童サービス論	児童サービス論	2	2	
	情報サービス演習	情報サービス演習Ⅰ◆	2	2	「情報サービス論」を単位修得していなければ履修できない。 ただし、秋学期に限りSP科目の「情報サービス論」と並行しての履修を認める。
		情報サービス演習Ⅱ◆	2	2	「情報サービス演習Ⅰ」を単位修得していなければ履修できない。
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論◎	2	2	
	情報資源組織論	情報資源組織論◎	2	2	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習A◆	2	2	「情報資源組織論」を単位修得していなければ履修できない。 ただし、秋学期に限りSP科目の「情報資源組織論」と並行しての履修を認める。
		情報資源組織演習B◆	2	2	
選択必修科目	図書館サービス特論	図書館サービス特論	1	2科目以上	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	1		
	図書・図書館史	図書・図書館史	1		
	図書館施設論	図書館施設論	1		

■必修科目、選択科目含めて、必修単位を４年次までに修得してください。
■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。
「履修上の注意点」で指定している科目を単位修得しなければ、履修できません。
■科目名に「◎」が付いている科目は､通信制によるテキスト･レポート履修ができる科目です（P.62参照）。

［履修科目］2016年度以降入学生

	法定科目	本学開講科目	単位	必修単位	履修上の注意点
必修科目	生涯学習概論	生涯学習概論◎	4	4	
	図書館概論	図書館概論◎	2	2	
	図書館制度・経営論	図書館制度・経営論◎	2	2	
	図書館情報技術論	図書館情報技術論	2	2	
	図書館サービス概論	図書館サービス概論◎	2	2	
	情報サービス論	情報サービス論◎	2	2	
	児童サービス論	児童サービス論	2	2	
	情報サービス演習	情報サービス演習Ⅰ◆	2	2	「情報サービス論」を単位修得していなければ履修できない。 ただし、秋学期に限りSP科目の「情報サービス論」と並行しての履修を認める。
		情報サービス演習Ⅱ◆	2	2	「情報サービス演習Ⅰ」を単位修得していなければ履修できない。
		情報サービス演習A◆	2	2	「情報サービス論」を単位修得していなければ履修できない。 ただし、秋学期に限りSP科目の「情報サービス論」と並行しての履修を認める。
		情報サービス演習B◆	2	2	
	図書館情報資源概論	図書館情報資源概論◎	2	2	
	情報資源組織論	情報資源組織論◎	2	2	
	情報資源組織演習	情報資源組織演習A◆	2	2	「情報資源組織論」を単位修得していなければ履修できない。 ただし、秋学期に限りSP科目の「情報資源組織論」と並行しての履修を認める。
		情報資源組織演習B◆	2	2	
選択必修科目	図書館サービス特論	図書館サービス特論	1	2科目以上	
	図書館情報資源特論	図書館情報資源特論	1		
	図書・図書館史	図書・図書館史	1		
	図書館施設論	図書館施設論	1		

2016年度未開講

■必修科目、選択科目含めて、必修単位を４年次までに修得してください。
■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。
「履修上の注意点」で指定している科目を単位修得しなければ、履修できません。
■科目名に「◎」が付いている科目は、通信制によるテキスト・レポート履修ができる科目です（P.62参照）。

6 司書教諭

＊司書教諭＊

司書教諭とは、学校図書館の専門的職務に従事する教育職員です。

小・中・高等学校、特別支援学校には学校図書館法で学校図書館を設置することになっています。司書教諭はこれらの学校において、図書･視聴覚教材･その他、学校教育に必要な資料を収集･整理･保存し、これらを児童・生徒および教員に利用提供し、学校図書館において図書館利用や資料の活用の指導等の職務を行います。

[司書教諭の資格]

司書教諭の資格は、以下の条件を満たすことが学校図書館司書教諭講習規程で定められています。

①学士の学位を有すること

②教員免許状を有すること

③司書教諭に関する所定科目の単位を修得していること

※司書教諭資格を取得するには、教職課程と司書教諭課程の２つの課程を履修しなければなりません。

[修了証書の授与]

学校図書館司書教諭は、本課程が定める所定単位を修得し、教育職員免許状を取得した際に、東京学芸大学を経由し文部科学省から「司書教諭講習修了証書」が交付されます。

交付されるまでの申請の手続きは教務課が行います。

学位授与式当日に教員免許状の配布（一括申請した場合に限る）と共に申請用紙を配布しますので、必要事項を記入の上教務課へ提出して下さい。

文部科学省から修了証が大学へ届き次第、申請者本人へ郵送します。

申請から郵送までおよそ１年間かかります。

[履修対象者]

・２年次以上を対象

・教職課程の資格登録をしている学生

・教育職員免許状取得希望者、または教育職員免許状取得者

●全学部全学科共通

法定科目	本学開講科目	単位	必修単位	履修上の注意点
学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館◎	2	2	
学校図書館メディアの構成	学校図書館メディアの構成	2	2	
学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館◎	2	2	
読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性◎	2	2	
情報メディアの活用	情報メディアの活用	2	2	

■必修単位を２～４年次までに修得してください。

■科目名に「◎」が付いている科目は、通信制によるテキスト･レポート履修ができる科目です（Ｐ.62参照）。

7 資格特別プログラム（SP履修）

＊資格特別プログラム（SP履修）＊

本学では、明星大学通信教育部の提供科目を利用することで、資格に関連する科目（一部、下記参照）の単位を修得することができます。

■履修対象者

「社会教育主事」「学芸員」「司書」「司書教諭」の資格登録をしている２年生以上。

■履修対象科目

対象資格	各資格法定科目名	履修（単位認定）科目名	通信課程科目	単位	注記
社教主	社会教育計画	社会教育計画論・通信	社会教育計画１ 社会教育計画２	4	※１
社教主 司書 学芸員	生涯学習概論	生涯学習概論・通信	生涯学習論１ 生涯学習論２	4	※１
司書	図書館概論	図書館概論・通信	図書館の基礎と展望	2	
	図書館経営論 図書館制度・経営論	図書館制度・経営論・通信	図書館制度・経営論	2	※２
	図書館サービス概論	図書館サービス概論・通信	図書館サービス概論	2	
	情報サービス概論	情報サービス概論・通信	情報サービス論	2	
	図書館資料論 図書館情報資源概論	図書館情報資源概論・通信	図書館情報資源概論	2	
	資料組織概説 情報資源組織論	情報資源組織論・通信	情報資源組織論	2	※２
司書教諭	学校経営と学校図書館	学校経営と学校図書館・通信	学校経営と学校図書館	2	
	学習指導と学校図書館	学習指導と学校図書館・通信	学習指導と学校図書館	2	
	読書と豊かな人間性	読書と豊かな人間性・通信	読書と豊かな人間性	2	

◆対象資格欄の「社教主」は「社会教育主事」を指します。

【注記】

※１：通信科目にある２科目（―１、―２）両方を合格することで、単位認定されます。

※２：法定科目に関しては、各資格の該当するページで確認してください。

■履修登録

春学期の履修登録期間、T-Po上で行ってください。なお、これは通年科目のため、秋学期に削除や追加の登録等は一切できません。SP科目は履修登録画面の下段にある「集中講義」「選択」を押して履修登録してください。

■単位認定

レポート･科目終了試験ともに合格することで､該当する｢履修（単位認定）科目｣として単位認定されます。

■履修上の注意点

①. １年間の履修単位数は８単位を上限とします。

②. 第Ⅲ類科目として分類されます。制限単位には含まれません。但し、GPAには反映されます。

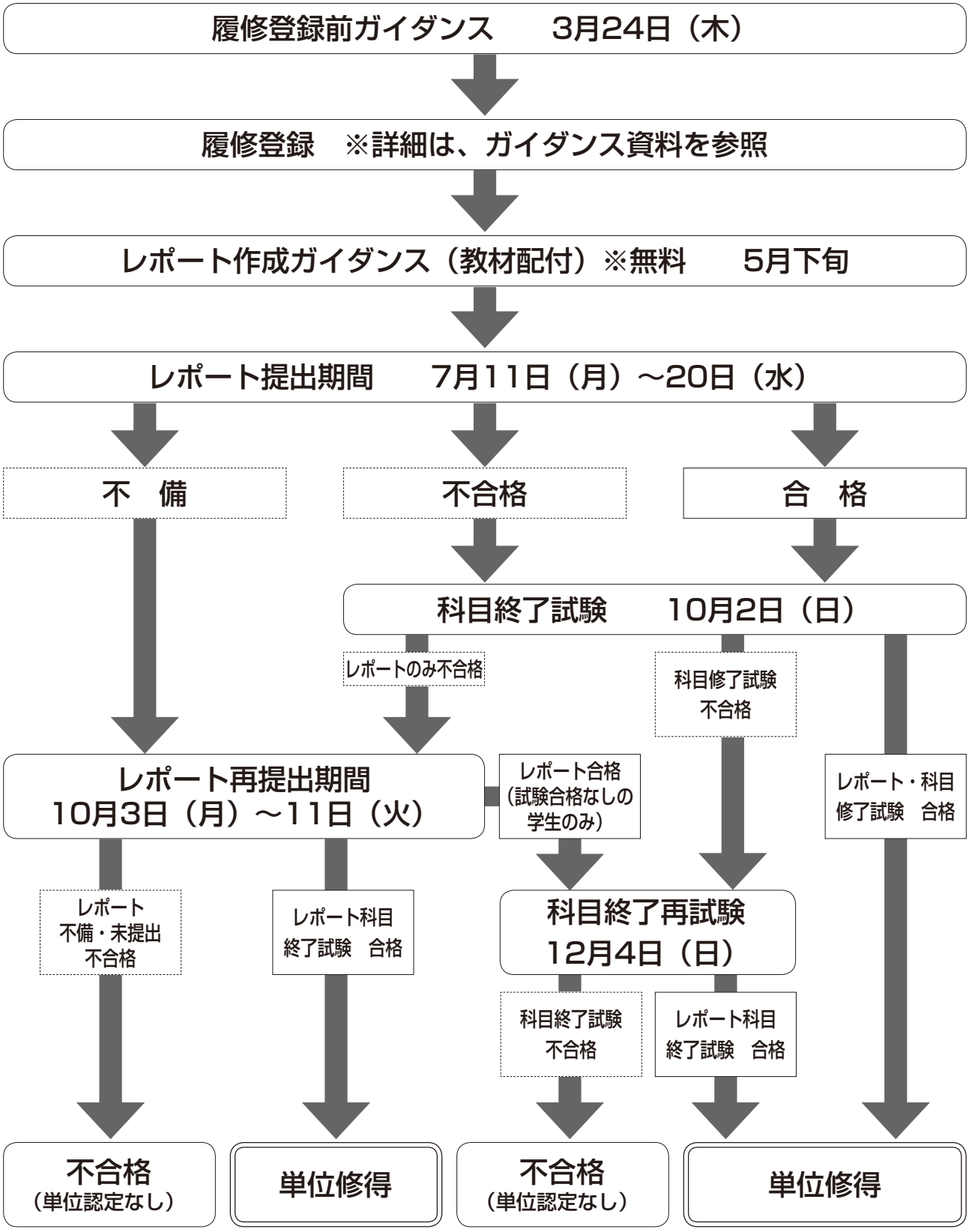
③. 同じ科目において、SP科目と本学開講科目と同時に履修することはできません。

④. 各ガイダンスには必ず出席してください。レポート・科目終了試験を含めた日程等は、T-Poでお知らせしますので、各自必ず確認してください。

■単位修得に向けて不明な点等がある場合は､下表の担当教員または教務課窓口へ相談してください。

対象資格（科目）	担当教員	備考
社会教育主事（生涯学習概論・社会教育計画論）	教務課	個別相談時間はT-Poで確認してください。
司書	今村成夫　（人間科学科）	
司書教諭		

[履修のながれ]（2016年度）



※日時、場所等についてはT-Poでお知らせします。
※日程に変更が生じる場合がありますので、必ずT-Poで確認してください。

8 日本語教員養成講座

＊日本語教員養成講座＊

国内外において、現在外国人の日本語学習者が急増しています。それにともない注目されている資格です。日本語を学ぶ外国人に正確な日本語や日本文化を指導できる能力を身につけ、なおかつ異文化についても理解を深めることを目的とします。

[日本語教員の資格]

日本語教員の資格については、現在、資格免許の制度化は確立されていません。

指定の科目を履修することにより、文部科学省の定める日本語教員となる基準を満たすことができます。したがって養成講座をもつそれぞれの大学や関係教育機関にその資格の認定が委ねられています。

◎修得単位数の合計が**40単位以上**になるように以下の科目を履修すること（●は必修）。

区　分	本学開講科目	単位	必修	備　考
社会・文化・地域	基礎日本文学Ⅰ	2		
	基礎日本文学Ⅱ	2		
	基礎日本文学Ⅲ	2		
	基礎日本文学Ⅳ	2		
	異文化の理解 A	2		
	異文化の理解 B	2		
	異文化の理解 C	2		
	基礎日本語Ⅰ	2	●	
	基礎日本語Ⅱ	2	●	
	基礎日本語Ⅲ	2	●	
	基礎日本語Ⅳ	2	●	
	日本語教育研究A（教授法概論）	4	●	
言語と社会	日本語学研究F（社会言語学）	2	●	
	日本語学研究G（対照言語学）	2		
	英語表現論	2		
言語と心理	学習・発達論	2		
	心理学の基礎A	2	●	1科目選択必修 「心理学の基礎A」は2015年度までの履修しか認めない。2016年度以降は「心理学概説」を履修すること。
	心理学概説	2	●	
言語と教育	日本語教育実習	1	●	
	日本語教育研究B（段階別教授法）	4	●	
	日本語教育研究C（教材・教具）	4	●	
	キャリア英語表現 A	2		
	キャリア英語表現Ⅰ	2		
	情報メディアの活用	2		

2016年度未開講

区　分	本学開講科目	単位	必修	備　考
言語	言語学研究Ⅰ	2	●	
	言語学研究Ⅱ	2	●	
	日本語学研究Ⅰ	2		
	日本語学研究Ⅱ	2		
	日本語学研究Ⅲ	2	●	
	日本語学研究Ⅳ	2	●	
	日本語学研究Ｅ（語彙・意味）	4		
	日本語学研究Ｅ（語彙・意味）	2	●	2014年度以降入学生必修。2013年度以前入学生は履修することを強く望む。
	音声学研究Ⅰ	2		
	音声学研究Ⅱ	2		
	基礎現代文	2		
	基礎日本語語彙	2		

2016年度未開講

9 社会福祉主事

＊社会福祉主事＊

社会福祉主事とは、公務員として採用され福祉事務所や児童相談所、身体障害者更生相談所、知的障害者更生相談所などに勤務し福祉関係の事務（社会福祉法第18条）を行う専門職です。社会福祉主事として働く場合は、社会福祉主事任用資格を持つ者であることが原則となっています。また社会福祉主事任用資格は、社会福祉関係部門の公務員、社会福祉施設の管理職（施設長）や事務、相談業務などの仕事に就くための最低限の資格としても位置づけられています。

［社会福祉主事任用資格］

社会福祉主事任用資格を取得できる者は、大学で、法学、社会学、教育学、心理学等の中から３科目を履修した者となっています。しかし、所管官庁である厚生労働省は３科目だけではなく一定程度の必要な科目を履修することを求めています。こうしたことから、本学では、社会福祉主事に関する課程を設置し、指定の科目を修め、卒業要件を満たした者に対して、学位授与式に「認定証」を授与します。

［履修科目］社会福祉主事に関する科目及び単位数は、下記のとおりです。

本学開講科目	単位	必修単位	履修上の注意
社会福祉概説Ⅰ	2	7科目 14単位必修	
社会福祉概説Ⅱ◆	2		「社会福祉概説Ⅰ」を単位修得しなければ履修できない
社会福祉方法論Ⅰ	2		
社会福祉方法論Ⅱ	2		
基礎法学	2		
心理学概説	2		
社会学概論	2		

■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。

◆社会福祉学科の学生は、卒業と同時に社会福祉主事任用資格の取得ができます。

※2005年度以前の入学生は資格登録できません。

⑩ 児童指導員

＊児童指導員＊

児童指導員とは、児童養護施設や障害児施設などの児童福祉施設で働く指導員で、子どもに対し生活指導、保護者に対しては相談援助等を行う専門職です。こうした児童指導員として採用されるための資格が児童指導員任用資格です。

[児童指導員任用資格]

児童指導員任用資格基準は「大学の学部で、心理学、教育学又は社会学を修め学士の学位を得る者」か「教諭となる資格を有する者」となっています。本学では下記履修科目を修め、卒業要件を満たした者に対して、学位授与式に「認定証」を授与します。

[履修対象者]

＊2010年度以前入学生

- 臨床心理学科（専攻）、人間科学科の学生
- 上記以外で教職課程を履修している学生（アーバン福祉学科を除く）

＊2011年度以降入学生

- 教職課程を履修している仏教学科、環境コミュニティコース、環境政策コース、人文学科、歴史学科、表現文化学科の学生

[履修科目] 児童指導員に関する科目及び単位数は、下記のとおりです。

本学開講科目	単位	必修単位	履修上の注意
社会福祉概説Ⅰ	2	8科目 16単位必修	
社会福祉概説Ⅱ◆	2		「社会福祉概説Ⅰ」を単位修得しなければ履修できない
社会福祉方法論Ⅰ	2		
社会福祉方法論Ⅱ	2		
児童福祉概論	2		
基礎法学	2		
教育原理	2		
児童心理	2		

■科目名に「◆」が付いている科目は、先修制科目です。

◆下記の学生は、卒業と同時に児童指導員任用資格の取得ができます。

＊2010年度入学生

- アーバン福祉学科の学生

＊2011年度以降入学生

- アーバン福祉学科、社会福祉学科、のびのびこどもプロダクトコース、こどもコミュニティコース、こども文化・ビジネスコース、臨床心理学科、人間科学科、教育人間学科の学生

※2005年度以前の入学生は資格登録できません。

児童指導員任用資格を取得した人は、「遊びを指導する者（児童厚生員）」の任用資格も有します。
「遊びを指導する者（児童厚生員）」とは、児童館等の児童厚生施設に勤務する専門職です。

⑪ 僧階取得講座

＊僧階取得講座＊

本学では、将来僧職につく学生のために、宗門子弟教育を行っています。

[履 修 手 続 き]

僧階単位を履修するには、１年次に資格登録を行います。ただし登録料は必要ありません。

■天　台　宗（2013 年度以降入学生対象）

(1) 天台宗では下記の基準によって、僧階が取得できます。ただし科目単位のみではなく、得度し僧籍を得た上で、いずれも四度加行・入壇潅頂・登壇受戒を修了し、また権大僧都以上は、さらに竪義遂業、開壇伝法を修了した者に、宗より補任されます。

詳細に関しては、研究室主任の指導を受けてください。

編入生・大学院生・仏教学科以外の学生・科目等履修生は必ず研究室主任の指導を受けてから履修登録してください。

宗規の僧階名	基　礎　資　格	科　目　単　位　数
大　律　師	大正大学に２カ年以上在学した者	宗学ならびに法儀研究20単位以上修得した者
権 少 僧 都	大正大学を卒業した者	宗学ならびに法儀研究24単位を修得した者
少　僧　都	大正大学仏教学科天台学系を卒業した者	宗学ならびに法儀研究40単位を修得した者
僧　　都	大正大学大学院修士課程を修了した者	宗学ならびに法儀研究20単位以上修得した者 大学院で宗学24単位以上を修得した者
権 大 僧 都	大正大学大学院修士課程(天台学)を修了した者	同上　〃
大　僧　都	大正大学大学院博士課程を修了した者	同上　〃
権　僧　正	天台教学に関する論文により博士の学位を得た者	－

	本 学 開 講 科 目 名	単位数	
学部開講科目	天台宗法儀研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ	各２	１・２年次必修（夏期研修２回を含む）
	天台宗伝道学Ⅰ・Ⅱ	各２	３・４年次必修
	天台宗悉曇Ⅰ・Ⅱ	各２	３・４年次必修
	天台学教理体系Ａ	2	２・３年次４単位選択必修
	天台学教理体系Ｂ	2	
	天台学教理研究Ａ	2	
	天台学教理研究Ｂ	2	
	天台学教理研究Ｃ	2	
	天台学教理研究Ｄ	2	
	天台学宗典講読Ａ	2	
	天台学宗典講読Ｂ	2	
	仏教学基礎ゼミナールⅢ	2	※1
	仏教学基礎ゼミナールⅣ	2	
	天台教団史研究Ａ	2	
	天台教団史研究Ｂ	2	
	天台学宗典概説Ａ	2	
	天台学宗典概説Ｂ	2	
	天台学専門研究Ⅰ	2	※2
	天台学専門研究Ⅱ	2	
	天台学専門研究Ⅲ	2	
	天台学専門研究Ⅳ	2	

2016年度未開講

※1 仏教学基礎ゼミナールⅢ・Ⅳは天台学の内容に限ります。

※2 専門研究のうち、天台宗所属教員が担当している科目に限り、僧階単位（天台学専門研究）として認定します。

	本学開講科目名	単位数	
大学院開講科目	MD 天台学特論A	2	
	MD 天台学特論B	2	
	MD 天台学特論C	2	
	MD 天台学特論D	2	
	M天台教理史特論A	2	
	M天台教理史特論B	2	
	M応用天台学持論A	2	
	M応用天台学持論B	2	
	M仏教学課題研究	4	
	D仏教学研究指導	4	

●上記科目以外でも、大学院仏教学研究科開講科目のうち、天台宗所属教員が担当している科目は、僧階単位として認定します。

(2) なお大正大学天台学研究室として下記の内規を設けます。

- 宗学コース（天台学）の学生は、社会教化者養成講座の科目を一定以上履修することが強く望まれる。
- 研究室独自に行っている天台宗研修道場（法儀補講、止観、写経）に参加すること。
- 天台学研究室および台友会の主催する行事（声明公演等）には必ず参加すること。
- これら内規の詳細に関しては、研究室主任の指導を受けてください。

●2012年度以前入学生は天台学研究室の指導を受けて、履修を進めてください。

■真言宗豊山派

真言宗豊山派の教師となるには、得度を終え、度牒を授与され、大伝法院流による四度加行および伝法灌頂の行位を履修し、これと並行して＜下表＞の科目・単位及び研修課程を履修しなければなりません。

僧　階	基　礎　資　格	科　目　・　単　位	研修課程
権律師	大正大学又は種智院大学に１年間在学した者	総取得単位数30単位以上(法儀研究４単位含)	宗派指定研修所第１・２期
	一般大学又は短期大学を卒業した者	真言学に関する科目及び仏教学に関する科目合計10単位以上を履修した者	宗派指定研修所第１・２期又は特別専修所第１期
律　師	大正大学又は種智院大学に２年間在学した者	総取得単位数60単位以上を履修した者（そのうち、真言学に関する科目法儀研究８単位含16単位以上、仏教学に関する科目８単位）	宗派指定研修所全課程
	一般大学を卒業した者	真言学に関する科目８単位以上及び仏教学に関する科目12単位以上を履修した者	宗派指定研修所第１・２期又は特別専修所第１期
大律師	大正大学又は種智院大学を卒業した者	真言学に関する科目20単位以上（法儀研究８単位含）及び仏教学に関する科目８単位以上を履修した者	宗派指定研修所全課程
	一般大学を卒業した者	真言学に関する科目12単位以上及び仏教学に関する科目18単位以上を履修し、卒業論文を仏教学で提出した者	宗派指定研修所第１・２期又は特別専修所第１期
権少僧都	大正大学又は種智院大学を卒業した者	真言学に関する科目26単位以上（法儀研究８単位含）及び仏教学に関する科目８単位以上を履修した者	宗派指定研修所全課程
	大正大学大学院に在学した者		
	宗立専修学院を卒業した者	学院規則に定める教育課程を修了した者	所定の宗派指定研修所全課程
少僧都	大正大学又は種智院大学を卒業した者	真言学に関する科目32単位以上（法儀研究８単位含）及び仏教学に関する科目12単位以上履修した者	宗派指定研修所全課程
権中僧都	大正大学又は種智院大学を卒業した者	真言学に関する科目40単位以上（法儀研究８単位含）及び仏教学に関する科目12単位以上履修した者	宗派指定研修所全課程
中僧都	大正大学仏教学部仏教学科を卒業した者	真言学に関する科目50単位以上(法儀研究8単位含)及び仏教学に関する科目16単位以上履修し､卒業論文を真言学で提出した者	宗派指定研修所全課程
	大正大学大学院修士課程（仏教学以外）を修了した者	大学院修士課程の真言学に関する科目16単位以上及び「少僧都」に指定された科目・単位を履修した者	宗派指定研修所全課程
権大僧都	大正大学大学院修士課程（仏教学）を修了した者	大学院修士課程の真言学に関する科目32単位以上及び「少僧都」に指定された科目・単位を履修した者で法臈７年以上の者	宗派指定研修所全課程
	大正大学大学院博士後期課程（仏教学以外）を修了した者	大学院博士後期課程の真言学に関する科目８単位以上及び「少僧都」に指定された科目・単位を履修した者で法臈７年以上の者	宗派指定研修所全課程
大僧都	大正大学大学院博士後期課程（仏教学）を修了した者	大学院博士後期課程の真言学に関する科目12単位以上及び「少僧都」に指定された科目・単位を履修した者で法臈７年以上の者	宗派指定研修所全課程

○表中の真言学に関する科目とは、密教の起源とその展開及び真言宗の成立とその教理に関する科目をいいます。また、仏教学に関する科目とは、釈尊の生涯と教え及び仏教の展開に関する科目をいい、それぞれの科目及び大正大学大学院真言学に関する科目については年度当初において宗派がその都度指定します。

○宗派指定研修所第１期から第４期及び特別専修所第１期を無試験検定の研修課程とします。但し、研修所は第１期から順次に受講しなければなりません。

○前項にかかげる研修課程のうち、宗派指定研修所第４期の受講資格は、加行及び灌頂を履修した者に限ります。また、特別専修所の受講資格は、加行及び灌頂を履修した者とします。

■真言宗智山派

真言宗智山派の僧侶にして、大正大学に入学し、教師として必要な事教二相を修めるため下記の僧階科目を履修しなければなりません。

なお、科目の履修にあたっては、真言宗智山派教師規程に定められたとおり、智山派学監の指導に従って履修するものとします。

[大正大学学部]

（表内：単位数）

科目区分	僧階	少僧都	権中僧都	中僧都
	科目	卒業	仏教学科卒業	
真言智山学教理体系A･B	真言智山学教理体系A・B	4	4	4
基礎仏教学Ⅰ	基礎仏教学Ⅰ	4	4	4
真言智山法儀研究Ⅰ～Ⅳ	真言智山法儀研究Ⅰ～Ⅳ	8	8	8
真言智山伝道学Ⅰ・Ⅱ	真言智山伝道学Ⅰ・Ⅱ	4	4	4
真言智山悉曇Ⅰ・Ⅱ	真言智山悉曇Ⅰ・Ⅱ	4	4	4
真言（智山）各論	真言智山学宗典概説A・B 真言智山学教理研究A・B・C・D 真言智山教団史研究A・B	4	12	16
仏教学各論	専門部門（A・B・C群）のうち、上記真言（智山）各論に含まれていない科目	4	4	4
仏教の人権論	仏教の人権論	2	2	2
応用論	コース共通部門のうち、仏教の人権論、語学関係を除く科目	4	8	12

[大正大学大学院]

大学院に関しては、修した行位、大学院での専攻によって教師等級が異なるので、真言宗智山派僧侶および教師規程第２章第26条を参照してください。

以上の基準は、平成10年度入学生より実施します。

●その他

- 入学年次４月末日までに宗務庁に在学届を提出してください（真言宗智山派宗制「諸願申請書式」参照）。
- 第１期・第２期教学研修所（大正大学）に入所する者は、水曜日の本山研修は必修とし、法儀研究の評価には本山研修の出席状況等も含まれるので注意してください。
- 智山教学研修所（１～５期）を修了してください。※平成23年度第３期教学研修所入所者より適用する。
- 智山教学研修所第３期を受講する際、学監の指導による事前授業（特別開講科目）を１年を通して受講してください。
- 智山教学研修所は、大正大学課程と一般大学課程を通算することはできません。
- 詳細は「真言宗智山派宗制」を参照してください。
- 既に教学研修所を修了している場合や僧階取得済の場合は、履修科目・単位数について智山派学監の指導を仰いでください。

■浄土宗

浄土宗教師資格（僧階・学階・教階）を得ようとする者は、以下の科目を履修・単位修得してください。

【律師】

加行資格　計38単位必修〈見込み不可〉但し、編入生は「浄土宗法儀研究Ⅳ」のみ見込み可

	宗定科目	単位	本学開講科目	単位	取得年次	備考
浄土学に関する科目	法然上人の生涯と思想	12	浄土教団史研究A・B	各2	②	2科目4単位必修
	浄土宗の歴史					
	浄土学の基礎		浄土学教理体系A・B	各2	②	2科目4単位必修
	浄土教の歴史					
	三部経の思想		浄土学宗典概説A・B	各2	②	2科目4単位必修
	選択集の思想					
	浄土宗日常勤行式の解説					
仏教学に関する科目	釈尊の生涯と思想	6	基礎仏教学Ⅰ	4	①	2科目8単位必修
	仏教学の基礎					
	日本仏教の歴史と教え		基礎仏教学Ⅱ	4	①	
現代社会と教団に関する科目	現代社会と人間	6	仏教の人権論	2	②	2科目4単位必修
	仏教と人権					
	宗教法制		宗教法人法	2	②	
	浄土宗と加行（伝法と円頓戒）		浄土学宗典講読A	2	②	2科目選択必修
			仏教学基礎ゼミナールⅠ	2	①※	
			仏教学基礎ゼミナールⅡ	2	①※	
	仏教の儀礼と儀式		仏教学基礎ゼミナールⅢ	2	②※	
			仏教学基礎ゼミナールⅣ	2	②※	
僧侶の実践に関する科目	法式（初級）	12	浄土宗法儀研究Ⅰ	2	①	全科目必修
			浄土宗法儀研究Ⅱ	2	①	
	法式（上級）		浄土宗法儀研究Ⅲ	2	②	
			浄土宗法儀研究Ⅳ	2	②	
	伝道Ⅰ（念仏講話）		浄土宗伝道学Ⅰ	2	③	
	詠唱		浄土宗詠唱Ⅰ	2	②	

2016年度未開講

※仏教学基礎ゼミナールⅠ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳは浄土学の内容に限る
仏教学科以外の学生が履修する場合は必ず浄土学閲覧室へ相談すること

【少僧都】

計20単位必修

	宗定科目	単位	本学開講科目	単位	取得年次	備考
浄土学に関する科目	浄土教の思想と展開（三部経・選択集・三巻書・円頓戒等）	12	浄土学教理研究A	2	3～4	全科目必修
			浄土学教理研究B	2	3～4	
			選択集Ⅰ	2	2～4	
			選択集Ⅱ	2	2～4	
	法然門下の思想		浄土学教理研究C	2	3～4	
			浄土学教理研究D	2	3～4	
仏教学に関する科目	仏教の受容と展開	6	基礎仏教学Ⅲ	4	2	
	仏教史					
	各宗の概要等		基礎仏教学Ⅳ	4	2	

【輔教】

計6単位必修

	宗定科目	単位	本学開講科目	単位	取得年次	備考
現代社会と教団に関する科目	宗教学、社会福祉学、臨床心理学等の概論科目	4	臨床心理学概論	2	3・4	2科目4単位選択必修
			※1心理学の基礎A	2	2・3	
			※2心理学概説	2	2・3・4	
			仏教社会福祉論	2	2・3・4	
			宗教学入門	2	3	
			寺院と教団	2	2・3・4	
			仏教の社会貢献論	2	2・3・4	
			仏教の地域貢献論	2	2・3・4	
			現代社会と仏教	2	2・3・4	
			ターミナルケア論	2	2・3・4	
			教育と宗教	2	2・3・4	
			仏教と社会	2	1	
			浄土教と文化	2	1	
僧侶の実践に関する科目	伝道Ⅱ	2	浄土宗伝道学Ⅱ	2	3	必修

2016年度未開講

※1「心理学の基礎A」は2015年度までの履修しか認めない。

※2 2016年度以降は「心理学の基礎A」を履修済みの場合、「心理学概説」の履修は認めない。

【擬講】

計12単位必修

	宗定科目	単位	本学開講科目	単位	取得年次	備考
浄土学に関する科目	浄土学に関する研究科目	6	浄土学専門研究Ⅰ～Ⅳ	8	3・4	4科目8単位
			仏教学専門研究Ⅰ～Ⅳ		3・4	
仏教学に関する科目	仏教学に関する研究科目	4	2009年以降専門部門（仏教学・宗学）より選択、ただし浄土学を除く	4	3・4	選択必修
			2008年以前コース別専門部門A・B・C・E群より選択、ただしE群は浄土学を除く			

- 少僧都・擬講・輔教を取得する学生は、合計76単位以上修得してください。
- 「輔教」、「擬講」内の同一科目取得の場合は、どちらか一方のみでの認定となります。
- 浄土宗法儀研究・浄土宗伝道学は、各夏期道場に出席しない場合、Ⅱ・Ⅳ（秋学期開講科目）を受講することができません。
- 浄土宗伝道学Ⅰを履修の際は、浄土宗法儀研究Ⅰ・Ⅱの単位を修得済みであることが必要です。
- いずれの講座も僧階取得を目的とする講座であるため、無断での欠席・遅刻は認められません。
- 法儀研究は、「法儀実習」（水曜日）を含めて出席してください。
- 伝道学は、「実践僧侶学」（春・火曜日）、「法儀実習」（秋・水曜日）を含めて出席してください。
- 平成18年度以降の入学生は、擬講取得のためには卒業単位の充足が前提となります。
- 【擬講】専門部門の科目については浄土宗学監の指導を受けてください。

※仏教学部･仏教学科以外に在籍する学生で、擬講の取得を希望する者は、浄土宗学監の指導を受けてください。

【詠唱講司】

本学開講科目	単位	取得年次	備考
浄土宗詠唱Ⅱ	2	2～4	浄土宗詠唱Ⅰ取得者のみ履修可

浄土宗詠唱Ⅰ・Ⅱ履修者は、年間を通じて5～4級詠唱講司検定試験を実施予定です。

⑫ 社会教化者養成講座（シャースタ講座）

＊社会教化者養成講座（シャースタ講座）＊

将来、仏教者（僧侶）として地域社会や一般社会で活躍しようとする学生が、教化・伝道の理論、実践などについて体系的に学ぶプログラムがこの講座です。伝統的な教学、宗史、法儀についてはそれぞれの専門課程で学ぶことができますが、現代社会に対応した教化・伝道の実践力を身につけることを望む宗派所属学生にはきわめて有効なプログラムです。講師陣の中には、本学専任教員に加えて、教化伝道に携っている僧侶を迎えて、本講座にふさわしい内容の授業を行います。

■履修資格

社会教化者養成講座の履修は、２年次以上とします（ただし社会教化総論は１年次履修可）。

■履修手続き

社会教化者養成講座を履修し、資格を取得するには２年次に資格登録を行い登録料〈20,000円〉を納入する必要があります。登録料が未納の場合は科目の履修をしても資格は認定されないので注意してください。

■浄土宗　社会教化主事資格

浄土宗においては、平成２年４月より浄土宗の教化推進のために、教区・組等でコーディネータ的な役割を持つ浄土宗社会教化主事の資格を定めています。この資格を得るには、基礎資格として本学の社会教化養成講座の履修が原則となります。

■養成講座の科目等

【2008年度（平成20年度）以降入学生】

	科目名	単位	履修年次	備考
基礎科目	社会教化総論	2	2・3	2科目4単位必修
	社会教化方法論	2	2・3	
分野科目	寺院と教団	2	2・3・4	3科目6単位以上選択必修
	仏教の人権論	2	2・3・4	
	現代社会と仏教	2	2・3・4	
	仏教の社会貢献論	2	2・3・4	
	仏教の地域貢献論	2	2・3・4	
	仏教社会福祉論	2	2・3・4	
	生涯学習概論	4	2・3・4	
演習科目	社会教化演習Ａ	2	2・3	3科目6単位以上選択必修
	社会教化演習Ｂ	2	2・3	
	社会教化演習Ｃ	2	2・3	
	社会教化演習Ｄ	2	2・3	

※社会教化総論を履修した上で、他の科目を履修してください。　　2016年度未開講

■浄土宗所属の学生

浄土宗所属の学生で、浄土宗社会教化主事資格を得ようとする学生は、以下３分野にわたり３科目８単位追加履修してください。

区分	科　目　名	本学開講科目	単位数	備　考
分野科目	現代社会と教化の定義に関する科目	仏教の人権論	2	8単位以上選択必修
		社会学の基礎	4	
	教化と臨床的方法に関する科目	※心理学の基礎Ａ	2	
		心理学概説	2	
	教化の組織的方法に関する科目	教育と宗教	2	
		生涯学習概論	4	
		社会教育計画論	4	

※「心理学の基礎Ａ」は2015年度までの履修しか認めない。

⑬ 浄土宗開教使養成講座

＊浄土宗開教使養成講座＊

本講座は、浄土宗宗務総長より本学が委託されて開講しているもので、海外開教の進展をはかるために有能な開教使を養成することを目的としています。

■履修資格

開教使養成講座の履修は２年次以上とします。

■履修手続き

浄土宗開教使養成講座を履修するには、２年次に資格登録を行い、登録料〈10,000円〉を納入してください。登録料が未納の場合は科目の履修をしても単位は認定されないので注意してください。

■履修条件

この課程は、浄土宗僧侶単位と並行して受講するものとします。

■資格取得について

僧階科目を受講し、加行を受け、開教使養成講座の所定の単位を取得した者は、浄土宗開教使候補として認定します。

宗定科目		本学開講科目		
		科目名	単位数	備考
一	開教概論	アメリカ文学史	2	2単位選択必修
		世界のなかの欧米	4	
		異文化の理解A	2	
		異文化の理解B	2	
		異文化の理解C	2	
		異文化の理解D	2	
		異文化の理解E	2	
		仏教信仰と異文化	2	
二	キリスト教神学	キリスト教文化史	2	必修
三	英会話	DLP英語	8〜16	8単位必修
四	時事英文			
五	英作文	英会話Ⅰ〜Ⅳ	8〜16	
六	宗教教育	社会教化総論	4	14単位以上選択必修
		社会教化総論	2	
		社会教化方法論Ⅰ−A・B	各2	
		社会教化方法論Ⅱ−A・B	各2	
		社会教化方法論	2	
		社会教化方演習Ⅰ−A・B	各2	
		社会教化方演習Ⅱ−A・B	各2	
		社会教化演習A〜D	各2	
		日本文化史A	2	
		日本の歴史書	2	
		日本の歴史と仏教	2	
		宗教と教育の関係	2	
		宗教学入門	2	
		教育と宗教	2	
七	書道、音楽、美術、仏教芸術、詠唱	書道文化研究A〜D	各2	2単位以上選択必修
		書道史Ⅰ・Ⅱ	各2	
		浄土宗詠唱Ⅰ・Ⅱ	各2	
		仏教美術鑑照論	2	
		美術工芸史概説	4	
		美術文化財基礎研究	4	
		仏教美術史研究A	2	
		仏教美術史研究B	2	
		仏教文化研究A〜E	各2	
		仏教表現研究A〜E	各2	
		美術史基礎研究	2	
		仏画研究A・B	各2	
		仏像研究A・B	各2	

2016年度未開講

※2007年度以前入学生は、入学年度の資格要項に倣い履修してください。

2016 資格要項

平成28年4月1日発行

大正大学教務部教務課

印刷：(有) 立花印刷